

ジャズ伊勢物語

「歌を忘れてジャズを聞け」

[参考]

世阿弥十六部集 / 花鏡 389 頁

(岩波書店発行、著者 能勢朝次、昭和十五年八月二十日 第一刷発行 / 昭和三十五年十一月十五日 第六刷発行)

「批判之事」

… 批判に云う、てきはを忘れて能を見よ、能を忘れて為手を見よ、為手を忘れて心を見よ、心を忘れて能を知れと也 …

目次

序：ジャズ伊勢物語の成り立ち v

1	(018) I'm Gonna Sit Right Down and Write Myself a Letter 自分に書く手紙	1
2	(063) I Wanna Be Loved by You あなたに愛されたい	3
3	(083) Stars Fell on Alabama 星降るアラバマ	5
4	(019) In the Shade of the Old Apple Tree 林檎の樹の下で	6
5	(035) South of the Border 国境の南	8
6	(002) All the Way いつでも、いつまでも	10
7	(040) Save the Last Dance for Me ラストダンスは私に	12
8	() On a Hill by the Bay 港の見える丘	14
9	(006) Come on-a My House 家においでよ	16
10	() Love Me Tender ラブミーテンダー	18
11	(036) Tennessee Waltz テネシーワルツ	19
12	(001) Ain't Misbehavin' 正しく生きて行く	20
13	(017) I'm Confessin' 愛してるの	22
14	(030) Pennies from Heaven 空から銅貨が降ってきた	24
15	(089) We Three 私たち、3人	25
16	(020) I Surrender, Dear もうあなたのもの	26
17	(024) Mack the Knife マック・ザ・ナイフ	27
18	(041) Alexander's Ragtime Band アレキサンダーズ ラグタイム バンド	29
19	(073) My Funny Valentine マイファニーバレンタイン	31
20	(090) When the Saints Go Marching In 聖者の行進	33
21	(003) Am I Blue ブルーな気持ち	36
22	(028) Once in a While ときどき思い出してね	38
23	(075) On a Slow Boat to China ボートでゆっくり、チャイナ	40
24	(046) Besame Mucho ベサメムーチョ	42

25	(039) Where or When どこかで、いつか	44
26	(011) Foolin' Myself 自分でなくて	46
27	(034) Sometimes I'm Happy ときどき幸せ	48
28	(120) My Way マイウェイ	50
29	(052) Cow Cow Boogie カウボーイブギ	52
30	() Croce di Oro クローチェ・ディ・オーロ	54
31	(033) Smoke Rings スモークリング	56
32	(029) On the Sunny Side of the Street 陽の当たる通りに出よう	58
33	(057) Get Out and Get Under the Moon 月の光の照らす夜	60
34	(013) Goody Goody よかったね	62
35	(021) It's a Sin to Tell a Lie 嘘は罪	64
36	(082) Sophisticated Lady キャリアウーマン	65
37	(031) Release Me そのてをはなして	66
38	(023) Johnny Guitar ジョニー・ギター	68
39	(038) What a Difference a Day Made 1日ですべては変わる	69
40	(037) Try to Remember 9月の思い出	71
41	() As Time Goes By 時は流れても	73
42	(005) Diamonds Are a Girl's Best Friend 女の子はダイヤモンドが すき	75
43	(008) East of the Sun, West of the Moon 日は東、月は西	77
44	() Fallen(Autumn) Leaves 枯葉	78
45	(010) A Foggy Day 霧の日に	79
46	(022) It All Depends on You あなた次第なの	80
47	(068) Love for Sale 愛、売ります	81
48	(053) Danny Boy ダニーボーイ	83
	拾遺	86
	後記	91
	曲名索引	93

序：ジャズ伊勢物語の成り立ち

伊勢物語は平安時代の在原業平の歌を多く含む古い歌物語です。作者、成立年代とも、いまだ不詳ということです。ジャズのスタンダード曲に触発された和歌があり、それに短い物語をつけて、それが、伊勢物語に似た形となり、「ジャズ伊勢物語」と名づけました。伊勢物語の現代語訳ではありません。和歌は旧かな使いの部分もあり、文語表現も多く、統一が取れていませんが、詠まれた通りのものをそのまま残しました。

現代から約1000年前の平安時代の文学を共感を持って読めるのと同じように、約1000年前の米国のジャズ曲を、伊勢物語とは違い、日本という異国の地において共感して聞くことができることが分かり、そこに、遠く離れた人の生活への共感という共通のあり方があり、伊勢物語を読むのと同じ楽しみを、スタンダードジャズを聞くことに見出すことができます。室町時代には、業平を含む平安時代の歌人の歌を、詞に取り入れた能の曲ができました。太鼓と笛の音曲には、ジャズと同じ音の楽しみがあります。世阿弥の名に代表される能と、ジャズとの繋がりについて、何か考えるべきことがあるように思います。

ジャズ曲を、自分の中にあるもっとも確かなものに遡って、そこから鑑賞し、理解することができることは非常に楽しいことでもあります。なぜそれができるのかわかりませんが、人は、大体において、似たようなことをしているもののようです。伊勢物語では、各段の短い物語があり、その後には和歌が添えられます。

ジャズ伊勢物語では、ジャズ曲が、タイトルだけですが、まずあり、それが暗黙のうちに物語としてそこにあります。それに歌が添えられます。また、その歌の意味を平易な現代語の解説で表わしました。その後の短い物語は、現代を生きる人の刻印を押すために付加されました。そして最後に、ジャズ詩の和訳があります。それは歌ですから、歌って頂くことができます。そこから、もう一度最初の和歌に戻ってみてください。1曲のお話を1段とすると、全体として、48段の構成になります。「昔、男ありけり」の句を各段の短い物語の始めに想像して置いてみて頂きたいものです。伊勢物語の雰囲気、うまい具合にジャズと重なることを願っています。

ですから、これは、ジャズの地、米国を遠く離れた国で、自分の中の古くからあるものに従ってジャズスタンダード曲を楽しむ1つの方法です。

ジャズ詩の和訳ということで、通常の訳業と異なる特徴的なこととして、同じ言葉の繰り返しになる部分も、曲あるいは歌演奏の通常の進行通りに、そのまま詩本文としています。

最後に曲名索引があります。各段の曲名の前にある番号、(018)などは、ジャズソングブック(ブルー、レッド、グリーン)での通し番号です - 曲名索引では、JSB 番号として位置づけています。

2010 (平成 22) 年 4 月 16 日 (火) 記 美艇香津

ジャズ伊勢物語

美艇 香津 書

1 (018) I'm Gonna Sit Right Down and Write Myself a Letter

自分に書く手紙

[JASRAC:010-2110-8]

書きつらむ手紙いつしかも我からとまさりし思い君にたくせり

[解説] あなたへの手紙を書こうとしていたら、いつのまにか、自分の思いが余って、
つい、あなたの思いを表わす自分宛の手紙のように書いてしまった。

中学生の頃、B 5 のノートに日記風に、思ったことや、睡眠時の夢の内容を詳しく書いていた。2冊か3冊か書いた。大学の頃までは持っていたが、その後の何回かの引越しの間に失くしてしまった。詩も書いていた。思い出すのは、「14歳」や「アンギニョール (Un Guignol)」という詩のタイトル。「池の底に金魚がふらつく」、「思い出すのは 箏笥の底の死の影 いつか引っ張るものもなく 墜落する おれ自身を」だったり、「きゆりくむめれぬと」だ。

きまった一人に宛てて手紙を書いて、それが「宛て所に尋ね当たりません」と戻ってきたときの困惑を思い出す。自分宛に書くならば、届かないということはない。

手紙を書いていて、あて先の人からの手紙に書き換えてしまうというのは、もともと、手紙を書く宛てもなかったのかも知れない。

[訳詩] 自分に書く手紙

I'm Gonna Sit Right Down and Write Myself a Letter

手紙を書く自分に
あなたからと思って
書く言葉は、やさしく
気持ちはもう夢中
最後にいくつもキスの跡
そうだったらうれしい

I'm gonna sit right down and write myself a letter
And make believe it came from you
I'm gonna write words, oh, so sweet
They're gonna knock me off my feet
Kisses on the bottom
I'll be glad I've got 'em

伝えたい、「毎日楽しいといいね」
そしてきっと「愛してる」と書く
座ったらすぐに、手紙を書く 自分に
あなたからと思って

I'm gonna smile and say "I hope you're feelin' better"
And sign "with love" the way you do
I'm gonna sit right down and write myself a letter
And make believe it came from you

手紙を書く自分に
あなたからと思って

書く言葉は、やさしく
気持ちはもう夢中
最後にいくつもキスの跡
そうだったらうれしい

伝えたい、「毎日楽しいといいね」
そしてきっと「愛してる」と書く
座ったらすぐに、手紙を書く自分に
あなたからと思って
あなたからと思って

I'm gonna sit right down and write my-
self a letter
And make believe it came from you

I'm gonna write words, oh, so sweet
They're gonna knock me off my feet
Kisses on the bottom
I'll be glad I've got 'em

I'm gonna smile and say "I hope you're
feelin' better"
And sign "with love" the way you do
I'm gonna sit right down, write myself
a letter
And make believe it came from you
And make believe it came from you

Composer :	Fred E. Ahlert
Lyrics :	Joe Young
Artist :	Fats Waller

2 (063) I Wanna Be Loved by You あなたに愛されたい

[JASRAC:010-3130-8]

ただ愛されむ他の誰でもなく キスを許しぬあなたばかりに

[解説] 愛されたいのは、他の誰でもなく、キスを許しもしたあなただけです。

生まれた地元の町で一人で映画を見た。フェデリコ・フェリーニの「8 1/2」と三島由紀夫の「切腹」がセットになっていた。中学生だったそのとき、フェリーニが好きになった。映画の中で、イタリアの孤児院が学校の寄宿舎の夜、ベッドで騒ぐ子供たちが囁し立てる「アサニシマサ」。映画の字幕にそう書いてあった。そして、修道院のシスターが来て叱るのだ。

マリリン・モンローがケネディ大統領に歌った「ハッピーバースディトゥユー」の音は「パダムパダム ドゥビダプウ」と言ったのかも知れない。英語の言葉として意味のない記号言葉をカタカナで書くのは難しい。

[訳詩] あなたに愛されたい

I Wanna Be Loved by You

お願いあなたに、
愛してほしいの、あなたに、
お願いあなただけに、
ププビドゥ、

I wanna be loved by you
Just you and nobody else but you,
I wanna be loved by you, alone
Pooh pooh bee doo!

お願いあなたに、
キスしてほしいの、あなたに、
お願いあなただけに、

I wanna be kissed by you
Just you and nobody else but you
I wanna be kissed by you alone

キスしてほしいの、
ただそれだけ、
それ以上はないの、
あなたが欲しいから、
パダムパダム ドゥビダプウ

I couldn't aspire
To anything higher
Than to fill the desire
To make you my own
Paah-dum paah-dum doo bee dum,
pooooo!

お願いあなたに、
愛してほしいの、あなたに、
お願いあなただけに

I wanna be loved by you
Just you and nobody else but you
I wanna be loved by you, alone

愛してほしいの、(ただそれだけ)
それ以上はないの、
あなたが欲しいから、
パダムパダム ドゥビダブウ

お願いあなたに、
愛してほしいの、あなたに、
お願いあなただけに、
パディドゥル デイドゥル デイドゥル
ダム、
プブビドゥ

I couldn't aspire (To anything higher)
Than to fill the desire
To make you my own
Paah-dum paah-dum doo bee dum,
pooooo!

I wanna be loved by you
Just you and nobody else but you
I wanna be loved by you alone
Paah-deeedle-eeeedle-eeeedle-
eedum
Poo pooo beee dooo!

Composer :	Harry Ruby, Herbert Stothart
Lyrics :	Bert Kalmar
Artist :	Marilyn Monroe

3 (083) Stars Fell on Alabama 星降るアラバマ

[JASRAC:0S0-8690-5]

二人して星を見上げれば流れ星 いくつも走りぬ心騒ぎす

[解説] 二人で星を見ていたら、流れ星がいくつも走り、何かわからないことが起きるような気がして、落ち着かない気持ちになりました。

生まれた町の山に登ってふもとの方の町並みを見渡したとき、鉄道の駅、その近くを流れる北上川と中津川の合流地点、街の中心部への通りと城跡があり、一人でその山に行ける頃には、日本の暮らしが、もう、昔のようではないことが分かっていた。お正月は、もう、なくなり、なくなりかけて、街の商店は、何でもない日と同じように店を開けるようになっていた。

そこはもう、妖精の国ではなく、ベトナムでの戦争は始まっていた。山の上の展望台というところから、空と山を見て、家に帰った。

[訳詩] 星降るアラバマ

Stars Fell on Alabama

私たち、ドラマね
白く光る野原でキスした、
昨日、アラバマの夜に、星降る、
その素晴らしさ、忘れない、
あなたの目はやさしく輝いて、
昨日、アラバマの夜に、星降る、

We lived our little drama
We kissed in a field of white
And stars fell on Alabama last night
I can't forget the glamour
Your eyes held a tender light
And stars fell on Alabama last night

それは想像ではなくて、
信じられないことが起きたの、
そこは誰も入れない妖精の国、

I never planned in my imagination
A situation so heavenly
A fairy land where no one else could
enter

その真ん中に、あなたと私、
心臓でハンマーが鳴り、
私の腕はあなたを包む
昨日、アラバマの夜に、星降る、

And in the center just you and me
My heart beat like a hammer
My arms wound around you tight
And stars fell on Alabama last night

[repeat]

[repeat]

Composer :	Frank S. Perkins
Lyrics :	Mitchell Parish
Artist :	Billie Holiday

4 (019) In the Shade of the Old Apple Tree 林檎の樹の下で

[JASRAC:010-4510-4]

木苺の花甘く香り また会うを疑わず行きし日また還り来ず

[解説] 木苺の花の甘い香りがする中で、あなたと離れる日、私はまたきつと会える
と思っていたはずですが、その日も来ないまま今日になってしまいました。

林檎の樹のところで会おうと言ひし人 今は静かに土に休めり

[解説] 次に会うときは林檎の樹のところでと約束した人と、その後会うことはなく
て、今はもう亡くなったその人のお墓のあるところに来ています。

東京に行くために、生まれた町を離れるとき、自分の中では何も失われずに、また会
うことを疑いはしなかった。時間の距離が自分にはない。今日は昨日と継がって
いて、30年前の昨日も今日の目の前にある。不意に誰かが戸を叩き、会うはずだ
った人は、言った通りに公園の花の咲く木の下で待っていた。

約束を守るということ言えば、ここまで考えることは普通なことなので、自分で
なく、他人が思いも懸けないことを考えるのに驚く。

[訳詩] 林檎の樹の下で

In the Shade of the Old Apple
Tree

林檎の樹の下で
ずうっと見つめていた
あなたの声が囁いた、
小鳥の歌のように

In the shade of the old apple tree
Where the love in your eyes I could see
When the voice that I heard, like the
song of the bird
Seem'd to whisper sweet music to me

花に蜂が飛んで
聞いたあなたの言葉
「いつまでも、待っているわ
林檎の樹の下で」

I could hear the dull buzz of the bee
In the blossoms as you said to me
With a heart that is true, I'll be wait-
ing for you
In the shade of the old apple tree

<instrumental passage>

花に蜂が飛んで
聞いたあなたの言葉
「いつまでも、待っているわ
林檎の樹の下で」

I could hear the dull buzz of the bee
In the blossoms as you said to me
With a heart that is true, I'll be wait-
ing for you
In the shade of the old apple tree

VERSE 2

街から戻ってきて
悲しい気持ち、今は
持ってきた花束を、きれいな
お墓に置くために

お願い、あの娘の眠る
場所はどこか教えて
教えよう、最後の言葉、私を
林檎の樹の下に

I've really come a long way from the
city
And though my heart's breaking I'll be
brave
I've brought this bunch of flowr's, I
think they're pretty
To place upon a freshly moulded grave

If you will show me, Father, where
she's lying
Or if it's far, just point it out to me
Said he, "She told us all when she was
dying
To bury her beneath the apple tree"

Composer :	Egbert Van Alstyne
Lyrics :	Harry Williams
Artist :	Mills Brothers & Louis Armstrong
Artist :	The Ink Spots

5 (035) South of the Border 国境の南

[JASRAC:0S0-7740-0]

国境を越え南の町を過ぎ行けば 結婚式の鐘の響けり

[解説] 米国とメキシコの国境を越えて、南のメキシコのとある町に入ると、結婚式の鐘の音が鳴り響くのが聞こえた。

国境を行き来する中途半端なあんちゃんの見つけた思いがけない拾いもの。気に留めずに、いつか時が経ち、通り過ぎるある村で、自分とは違う人生の時が、同じように流れて行った。自分は何処へ行くのかも知らず通り過ぎるとき、何か確かなものはもう後ろにしかないと分かったし、背中に聞こえる鐘の音を振り向く神経も筋肉もないのだ。

アイヤヤヤと、言葉にならない叫ぶ声をする。

[訳詩] 国境の南

South of the Border

南へ行く、そこはメキシコ、
恋をした、星が空に光り
今は、さすらい、乱れる思い
サウス・オブ・ザ・ボーダー、今は
メキシコ

South of the border, down Mexico way
That's where I fell in love, where the
stars above came out to play
And now as I wander, my thoughts
ever stray
South of the border, down Mexico way

絵のようにきれい、着飾るスパニッシュ
レース
うれしくてキスした、その笑顔に
お祭りで2人はしゃいだ、
サウス・オブ・ザ・ボーダー、そこは
メキシコ

She was a picture in old Spanish lace
Just for a tender while I kissed a smile
upon her face
For it was fiesta and we were so gay
South of the border, Mexico way

アイ、ヤヤヤ
アイ、ヤヤヤ

Ay, Ay, Ay, Ay (Ay, Ay, Ay, Ay)
Ay, Ay, Ay, Ay (Ay, Ay, Ay, Ay)

あの子がささやく、「明日ね」と
別れることは思わず
返すのは嘘のマニヤナ
明日はもうないから

Then she sighed as she whispered,
"manana"
Never dreaming that we were parting
And I lied as a whispered, "manana"
For our tomorrow never came

国境の町、通ったある日、
白いベールとキャンドルに、
祈るあの子
教会の鐘、背中に
響く
サウス・オブ・ザ・ボーダー、そこは
メキシコ

アイ、ヤヤヤ（アヤヤヤヤ）
アイ、ヤヤヤ（アヤヤヤヤ）
アイ、ヤヤヤ（アヤヤヤヤ）
グッバイ、グッバイ

South of the border, I jumped back
one day
There in a veil of white, by the
candlelight, she knelt to pray
The mission bells told me that I
shouldn't stay
South of the border, Mexico way

Ay, Ay, Ay, Ay (Ay, Ay, Ay, Ay)
Ay, Ay, Ay, Ay (Ay, Ay, Ay, Ay)
Ay, Ay, Ay, Ay (Ay, Ay, Ay, Ay)
Good bye good bye.

Compose & Lyrics : Jimmy Kennedy, Michael Carr Artist : Gene Autry
--

6 (002) All the Way いつでも、いつまでも

[JASRAC:0A0-1480-3]

ずっと高くずっと深く思う我なれば 直にぞ君を愛せしめなむ

[解説] あなたを思う気持ちは、とても高く、とても深いので、あなたにも私のことを同じような思いで愛させたいと思う。

新宿の歌舞伎町のキャバレーの呼び込みに従って、店の階段を下りて地下に入った。安物の色紙や金紙、銀紙が洗濯物を干すローブにいくつも貼り付けられているような暗い室内を、赤や青や黄色の光が点いたり消えたりしていた。席に座り、話をして、何か飲んで、帰るとき、ご請求額は、呼び込みの言った額よりずっと高かった。何事か起きるまでもなく、店の女が来て、店の迷路を通り抜け、地上への階段のある出口まで一緒に来るように言った。出口の所で、お互いに何か言うべきこともあったと思う。

「高く、梢より高く」からの4行を、好きな歌手が歌うのを聞いてみたいと思った。

[訳詩] いつでも、いつまでも

All the Way

愛することは
いつも愛すること、いつまでも
そばに居てくれる
励ましてほしいときいつも

When somebody loves you
It's no good unless he loves you, all the
way
Happy to be near you
When you need someone to cheer you,
all the way

高く梢より高く
そう感じること
深く、青い海より深く
心の底から思う、本物なら

Taller than the tallest tree is
That's how it's got to feel
Deeper than the deep blue sea is
That's how deep it goes if its real

そばに居てほしいとき
いつも、そばに居ること
楽しくても、つらくても
そのいつでも何があっても

When somebody needs you
It's no good unless he needs you, all
the way
Through the good or lean years
And for all the in-between years, come
what may

道がどこまで続くのか
答えるのは愚か者、
でも、愛していいって言って、そしたら
愛する、あなたをいつでも、いつまでも

Who knows where the road will lead
us
Only a fool would say
But if you'll let me love you
It's for sure I'm gonna love you, all the
way, all the way

Composer :	James Van Heusen
Lyrics :	Sammy Cahn
Artist :	Celine Dion
	: Brenda Lee

7 (040) Save the Last Dance for Me ラストダンスは私に

[JASRAC:0S0-0488-7]

ひそやかに我は待ち居り 思う人の戻り来つらむラストダンスまで

[解説] ひっそりと大人しくして、ラストダンスになる今までも、私はあなたが私のところに戻るのを待っています。

ひそやかに我は待ち居り 宴果てラストダンスの声掛かるとき

[解説] ひっそりと大人しくして、その夜のパーティも終わりのラストダンスを知らせる声が聞こえる今も、あなたのことを待っている私です。

学生の頃、有楽町の日生劇場で越路吹雪を見た。その後、切符はいつも取りはぐれた。ステージから遠い後ろの席。何かの曲で、「… 捨てないで …」とか歌うのに驚いた。そんな気持ちには慣れていなかったわけだ。「愛の賛歌」もまた、自分には過剰で、「誰もいない海」も分からない曲だった。この「ラストダンス」や「ミロール」、
「ろくでなし」なんかが好きだった。もちろん、「サントワマミー」も。

日劇も行ってる。何回か。2階のバーとやらで飲む予定は、予定のままで終わった。一緒に家に帰るはずの2人。一人でいて、もう一人がラストダンスで自分の所に戻って来るのを、そんなに心配しているわけでもないらしい。

「テネシーワルツ」の世界ならば、ラストダンスに対する気持ちも違うと思われる。

「ラストダンス」の声が響けり 去り行きしきみが姿を追い求めつつ

[解説] ラストダンスを知らせる声が聞こえても戻ってこないあなたの姿を、私はあたりを見回して探しています。

我が友とつい離れたるきみが姿 ラストダンスにも見えずぞありける

[解説] 私の友人と一緒に少しだけどこかに離れるようにいなくなったあなたは、ラストダンスの時間になっても、どこにいるのが分からなくなりました。

[訳詩] ラストダンスは私に

Save the Last Dance for Me

踊り続けていい、彼に
見つめられ腕を組み
微笑みを全部あげる
キャンドルライトで彼に
でも、お家に帰り、
眠るのはこの腕の中で
ラストのダンスは私に

You can dance-every dance with the
guy
Who gives you the eye, let him hold
you tight
You can smile-every smile for the man
Who held your hand neath the candle
light

すてきな曲に
シャンパンみたい、楽しそうに
騒いだり

笑いながら歌うときも
心だけは離さないで
そして、お家に帰り
眠るのはこの腕の中
ラストのダンスは私に

こんなに愛していること
分かっているのに
そばにいてほしい、いつも
愛しているから

いつまでも踊っていていい
夜明けまで、そして最後に
一人なら送ると彼に
言われても、断ってね

そして、お家に帰り
眠るのはこの腕の中
ラストのダンスは私に

そして、お家に帰り
眠るのはこの腕の中で
ラストのダンスは私に

最後の踊りだけは
最後の踊りだけは

But don't forget who's takin' you
home
And in whose arms you're gonna be
So darlin' save the last dance for me

Oh I know that the musics fine
Like sparklin' wine, go and have your
fun
Laugh and sing, but while we're apart
Don't give your heart to anyone
But don't forget who's takin' you
home
And in whose arms you're gonna be
So darlin' save the last dance for me

Baby don't you know I love you so
Can't you feel it when we touch
I will never never let you go
I love you oh so much

You can dance, go and carry on
Till the night is gone
And it's time to go
If he asks if you're all alone
Can he take you home, you must tell
him no
'Cause don't forget who's taking you
home
And in whose arms you're gonna be
So darling, save the last dance for me

'Cause don't forget who's taking you
home
And in whose arms you're gonna be
So darling, save the last dance for me

Save the last dance for me
Save the last dance for me.

Compose & Lyrics :	Doc Pomus, Mort Shuman
Artist :	Manhattan Transfer

8 () On a Hill by the Bay 港の見える丘 [JASRAC:083-0104-2]

目に広き海と船とを眺めおり 花びらの散りし風を思いぬ

[解説] 海と船の景色が目の前に広がっている中で、花びらを散らす風のことを考えていました。

横浜の「港の見える丘」公園で、海面のすぐ近いベンチに座り、長い時間、何もしていなくても、やがて午後になり、帰った。

日本語の歌を英語にして、ジャズで歌うなら、きっと英語は驚くと思う。

[原詩] 港の見える丘

On a Hill by the Bay

あなたと二人で 来た丘は
港が見える丘
色褪せた桜 唯一つ
淋しく咲いていた
船の汽笛 咽び泣けば
チラリホラリと 花片
あなたと私に 降りかかる
春の午後でした

あなたと別れた あの夜は
港が暗い夜
青白い灯り 唯一つ
桜を照らしてた
船の汽笛 消えて行けば
チラリチラリと 花片
涙のしずくで きらめいた
霧の夜でした

あなたを想うて 来る丘は
港が見える丘
葉桜をそよる 訪ずれる
潮風 浜の風
船の汽笛 遠く聞いて
ウツラトロリと 見る夢
あなたの口許 あの笑顔
淡い夢でした

作曲 & 作詩： 東辰三
歌： 平野愛子
： ちあきなおみ

Compose & Lyrics : Higashi Tatsuzou
Translation :
Artist :

9 (006) Come on-a My House 家においでよ [JASRAC:0C0-4690-7]

我がくれしさまざまのもの取り見ては いつしか帰る時を過ごしぬ

[解説]私が見せたいいろいろな面白いものや興味を引きそうなものに夢中になって、あなたは、帰る時間を過ぎてても気が付かないで、今日は帰れなくなってしまっています。

家の冷蔵庫に、りんご、アプリコット、いちじくがあり、ぶどうやザクロもあるかも知れない。キャンディ缶にはいろいろなキャンディ、フルーツ色の赤いのや黄色いの、茶色や透明なの、青や緑もある。クリスマスツリーには指輪のおもちゃも懸けた。お腹がすいたら、ゆで卵と何か、フォアグラでも何でもおかずにして、ご飯も食べられるように準備ができています。

室の中をきれいに片付け、本棚に詩集、CD やレコードを聴けるオーディオコンボも置いて、軽いジャズを流す。自分のお給料だって全部あげてもいい。この小さなきれいな家で一緒に暮らせるなら。毎朝きれいな声で起こしてくれたり、夕方、明るい灯のともる窓辺で、温かい夕食を作って待っていてくれたら。一週間、月曜から土曜まではそんな日々が続いて、日曜日は休日にしよう。

グリム童話みたいなこの歌。お嫁さんが入る小鳥かごに導く仕掛けがあって、青い鳥を探している女の子が、このお菓子の家に近づいて行く。

[訳詩] 家においでよ

家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、キャンディ。
家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、アプルに、
プラムに、アプリコット、さあ。
家においでよ、私のお家、

おいでよお家に、おいでよ、
家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、イチジク、
デーツ、ぶどうにケーキ、さあ。
家においでよ、私のお家、
おいでよお家に、おいでよ、
家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、キャンディ、
家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、何でも、

Come on-a My House

Come on-a my house, my house
I'm gonna give you candy
Come on-a my house, my house
I'm gonna give you
Apple a plum and apricot-a too eh
Come on-a my house, my house a come
on
Come on-a my house, my house a come
on
Come on-a my house, my house,
I'm gonna give you
Figs and dates and grapes and cakes
eh
Come on-a my house, my house a come
on
Come on-a my house, my house a come
on
Come on-a my house, my house,
I'm gonna give you candy

家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、クリスマスツリー
家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、エンゲージリング
に、ザクロの実、さあ。

家においでよ、私のお家、
おいでよお家に、おいでよ、
家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、もも、なし、
きれいな髪が好き、さあ。

家においでよ、私のお家、
おいでよお家に、おいでよ、

家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、イースタエッグ
家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、何でも

家においでよ、私のお家、
おいでよお家に、おいでよ、
家においでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、
お給料全部に、小鳥かご、さあ。

家においでよ、お家に、
おいでよお家に、おいでよ、
おいでよ、私のお家、
あなたにあげましょ、キャンディ

家においでよ、いつまでも、
家においでよ、お嫁さんに

Come on-a my house, my house,
I'm gonna give you everything

Come on-a my house, my house,
I'm gonna give you Christmas tree
Come on-a my house, my house,
I'm gonna give you
Marriage ring and a pomegranate too
eh

Come on-a my house, my house a come
on
Come on-a my house, my house a come
on
Come on-a my house, my house
I'm gonna give a you
Peach and pear and I love your hair eh

Come on-a my house, my house a come
on
Come on-a my house, my house a come
on
Come on-a my house, my house,
I'm gonna give you Easter-egg
Come on-a my house, my house,
I'm gonna give you everything

Come on-a my house, my house-a
come on
Come on-a my house, my house-a
come on
Come on-a my house, my house
I'm gonna give you
all my wage, and a bird in the cage eh

Come on-a my house, my house-a
come on
Come on-a my house, my house-a
come on
Come on-a my house, my house
I'm gonna give you candy

Come on-a my house, all your life
Come on come on, and-a be my wife

Compose & Lyrics :	Ross Bagdasarian, William Saroyan
Artist :	Rosemary Clooney

10 () Love Me Tender ラブミーテンダー [JASRAC:0L0-4420-3]

椿咲く大寺の鐘の鳴る中に妹と相見し日の歌忘れず

[解説] 椿の花の咲いている中で、その日、鐘楼の鐘が鳴り、歌われた歌の調べと響きは忘れることはありません。

相見ては来む日約せる己が名の記せる文字の滑らかならず

[解説] その日に署名を記帳した文字が、我知らず、緊張のためか、滑らかな線が描けず、揺れたような線の筆跡になりました。

その日、ホテルのロビーで式出席者がお茶を飲み、何ともなく話しをしたとき、戦争の体験を話す妻の父の話に、周囲が耳を聞き澄まし、ボーイが、サービスで追加の品を持ってきてテーブルに置いたということ、後で、母から聞いたことがある。

[訳詩] ラブミーテンダー

Love Me Tender

愛して
優しく
離れずに
あなたと生きる
私の愛

Love me tender,
Love me sweet,
Never let me go.
You have made my life complete,
And I love you so.

真実の
愛に、
かなう夢
あなたを愛する
いつまでも

Love me tender,
Love me true,
All my dreams fulfilled.
For my darlin' I love you,
And I always will.

愛して
ずっと
心から
私は生きる
あなたのそば

Love me tender,
Love me long,
Take me to your heart.
For it's there that I belong,
And we'll never part.

愛して
聞かせて私だけと
あなたの私
時の限り

Love me tender,
Love me dear,
tell me you are mine.
I'll be yours through all the years,
Till the end of time.

Composer :	PD (George R. Poulton)
Lyrics :	Elvis Presley, Vera Matson
Artist :	Elvis Presley

11 (036) Tennessee Waltz テネシーワルツ

[JASRAC:0T0-1900-4]

うれしくて何も思わず過ぎ行くに 我は大切なものを落としいたりき

[解説] 嬉しくて、それ以外のことは何も考えられなくていたら、私は大事なものを落としてしまいました。

会社のある上野の昭和通りから山手線のガード下に出て、そこで、ラーメンギョーザを食べる。大振りの餃子が売り物で、いつも行列ができていた。そのはず向かいには、半分屋台の、屋根なしのテーブルと椅子で食べる中華の店があり、レバニラ定食が旨かった。少しサラリーマン向けの、昔からある感じの飲み屋があつて、昼過ぎから、もう、客はよく入っていた。

そこで、食べるなり、飲むなりして、アメ横を通り、好きな魚や、肉を買って帰る。魚を3枚におろすこともその頃練習したのだ。

テネシーワルツをパティ・ペイジは決して悲しく歌わない。誰でも、大切なものを失い、大人になって行くのだと思う。小さな子が、いろんな宝物を落としてしまうように。

[訳詩] テネシーワルツ

踊ったすてきな
あのテネシーワルツ
友達を、
見つけて、
彼にも教えて、
二人は踊り、
戻らない
あの人

思い出の夜
あのテネシーワルツ
失くした
大切なもの
あの人はもういない
あの夜のダンスで
テネシ - ワルツで

Tennessee Waltz

I was dancing with my darling to the
Tennessee Waltz
When an old friend
I happened to see
I introduced her to my loved one
And while they were dancing
My friend stole
My sweetheart from me

I remember the night
and the Tennessee Waltz
Now I know just
How much I have lost
Yes, I lost my little darling
The night they were playing
The beautiful Tennessee Waltz

Composer :	Pee Wee King
Lyrics :	Redd Stewart
Artist :	Patti Page

12 (001) Ain't Misbehavin' 正しく生きて行く [JASRAC:0A0-0940-1]

約束を断り一人ラジオを聴く 仕事終わりで室に憩いぬ

[解説] 会社の終わった後の飲み会とかの約束は全部断って帰り、一人で室でラジオを聞いてゆっくりしています。

仕事を6時に終わり通勤の電車に乗って帰る。

アパートのドアを開けて、ラジオをつける。聞きながら、背広を着替える。

魔法瓶の少し冷めたお湯でインスタントコーヒーを作って、椅子に座る。

きょうも、会社の何人かが群れて、飲みに行くらしい。

誘われる前に、手早く会社の机の上を片付けて帰って来た。

これって、マザーグースのジャック・ホナー君みたいに、

世の片隅でクリスマスのパイを食べているのと似ている。

一人でこうしていて、あなたの中に、きっとこの気持ちが
雪のように降り積もることを考えている。

[訳詩] 正しく生きて行く

Ain't Misbehavin'

話しもしない
ずっと一人
誰と歩きもせず
でもそれで幸せ
正しく生きて
愛をためるの、あなたに

No one to talk with
All by myself
No one to walk with
But I'm happy on the shelf
Ain't misbehavin'
I'm savin' my love for you

決めてるの
愛する人
遊びは終わり
思うのはあなたのこと
正しく生きて
愛をためるの、あなたに

I know for certain
The one I love
I'm through with flirtin'
It's just you I'm thinkin' of
Ain't misbehavin'
I'm savin' my love for you

まるでジャック・ホナー
隠れて
出かけず
そわそわと
あなたのキス、待っているの
ほんとうなの

Like Jack Horner
In the corner
Don't go no where
What do I care?
Your kisses are worth waitin' for
Be-lieve me

夜遊びなし
行きたいところもない
8時には家で
一人でラジオ
正しく生きて
愛をためるの、あなたに

I don't stay out late
Don't care to go
I'm home about eight
Just me and my radio
Ain't misbehavin'
I'm savin' my love for you

Composer :	Harry Brooks
Lyrics :	Andy Razaf, Fats Waller
Artist :	Louis Armstrong

13 (017) I'm Confessin' 愛してるの

[JASRAC:0I0-1950-2]

いつか友達となる日を怖る 愛すれば己が心を繰り返し告ぐ

[解説] いつの日にか、友達ということで終わってしまうのではないかということを考えると怖くて、愛しているという気持ちを、何度もあなたに言っている私です。

会社を作り、社員を募集し、その社員は順次辞めて行った。何年かして、40人近くが会社を通過して行った。その同窓会が開けるぐらいに。

何とかの法則によると、起こらないで欲しいことは必ず起こる、という。何度も言う愛の言葉、でも、いつか友達になることは決まっています、それは夢の中で言っているのかもしれない。

[訳詩] 愛してるの

I'm Confessin'

愛してるの、あなたを
あなたは私が好き？
愛してるの、あなたを
うそじゃない、そばにいて欲しい

I'm confessin' that I love you,
Tell me, do you love me too?
I'm confessin' that I need you,
Honest I do, need you every moment.

私を愛してる目
でも、そう言うてはくれない
違うって言うてるの、
私を悲しくさせるため？

In your eyes I read such strange things,
But your lips deny they're true,
Will your answer really change things
Making me blue?

いつか行ってしまうのが怖い
友達でいようねって
あなたがいないと、落ち込んでしまう
生きてるすべてはあなたのため

I'm afraid someday you'll leave me,
Saying "can't we still be friends"
If you go, you know you'll grieve me,
All in life on you depends.

私を好きだという思いこみの？
あなたの夢を見て、夢なの？
愛してるの、あなたを
何度でも言うわ

Am I guessin' that you love me,
Dreaming dreams of you in vain,
I'm confessin' that I love you, over
again, over again.

いつか行ってしまうのが怖い
友達でいようねって
あなたがいないと、落ち込んでしまう
生きてるすべてはあなたのため

I'm afraid someday you'll leave me,
Saying "can't we still be friends"
If you go, you know you'll grieve me,
All in life on you depends.

私を好きだという思いこみなの？
あなたの夢を見て、夢なの？
愛してるの、あなたを
何度でも言うわ

Am I guessin' that you love me,
Dreaming dreams of you in vain,
I'm confessin' that I love you, over
again, over again.

Compose & Lyrics :	Doc Daugherty, Al J. Neiburg, Ellis Reynolds
Artist :	Perry Como
	: Louis Armstrong

14 (030) Pennies from Heaven 空から銅貨が降ってきた

[JASRAC:0P0-1600-0]

銅貨降るつつまじやかな幸せを 君と二人で傘に集めり

[解説] 空から降ってくるとしても、それは金貨でなく、銅貨だけど、それでも幸せだと思い、あなたと二人で、傘いっぱい集めようと思います。

会社を作り、外人を雇った。フランス系カナダ人。1年で終わり、その後、仙台の英会話学校で教えて、その後には、銀行のコンピュータ関係のことで仕事を継いでくれようとした。あの当時、黒人の技術者を面接し、イギリス人でなく、スウェーデン人を採用した。イギリス人は意外らしくその理由を尋ね、スウェーデン人は、結局、入社しなかった。

あの当時は、空から降ってくるのは金貨でないと満足しなかったかも知れない。

[訳詩] 空から銅貨が降ってきた

Pennies from Heaven

雨が降ったらいつも
銅貨が空から
降ってくる、雲には
銅貨がぎっしり

Oh every time it rains
It rains pennies from heaven
Don't you know each cloud contains
Pennies from heaven

みんな君のフォーチュン
街に、落ちてくる、
逆さにして、傘を、しっかり持って、
集めてお日様とお花に換えよう

You'll find your fortune
Fallin' all over town
Be sure that your umbrella is upside
down
Trade them for a package of sunshine
and flowers

愛のためには
雨にも降られて、
雷でも、
木に隠れないで

If you want the things you love

空から降ってくる銅貨が、
2人に

You must have showers
So when you hear it thunder
Don't run under a tree
There'll be pennies from heaven
For you and me

Composer :	Arthur Johnston
Lyrics :	Johnny Burke
Artist :	Billie Holiday

15 (089) We Three 私たち、3人

[JASRAC:0W0-3002-5]

三人の仲間て歩むそれぞれに孤独な心 影と声と我

[解説] 三人の仲間だけど、それぞれ、孤独で寂しい気持ちでいるんだ。ぼく達、自分の影と、自分の声と、自分自身、なんだ。

会社勤めの通勤で、新幹線の東京 - 新横浜を利用するときもあった。新幹線の15分は楽しい時間だったことは確かだ。わずかの時間に、急いで休み、コーヒーを飲む。同じ時間に決まって乗り合わせる人もいた。車両の継ぎ目のデッキで、タバコを飲む男に、「禁煙です」と注意したその人と少し会話もしたが、いつかその仕事も終わってしまった。

一人の自分の中に、3人も仲間を見つけたとき、それぞれは寂しくても、同じ願いを共有しているのだから、寂しくないとも言える。

[訳詩] 私たち、3人

3人、みんなさびしい
思い出に生きている
声と、影と、わたし

3人は、騒ぎもせず
親しくもない
声と、影と、わたし

月の光がきれい
銀色に輝いている
影と一緒に、
声とお話、
でも、愛する人はいない

3人で、その人を待つ
いつまででも
声と、影と、わたし

We Three

We three, we're all alone
Living in a mem-o-ry
My echo, my shadow, and me

We three, we're not a crowd
We're not even company
My echo, my shadow, and me

What good is the moonlight
The silvery moonlight that shines
above?
I walk with my shadow
I talk with my echo
But where is the one I love?

We three, we'll wait for you
Even till eternity
My echo, my shadow, and me

Compose & Lyrics :	Cogane Nelson, Sammy Mysels, Dick Robertson
Artist :	The Ink Spots

16 (020) I Surrender, Dear もうあなたのもの [JASRAC:010-2860-9]

極まりよく応対しつつ 心には寂しき思い君に頼りつ

[解説] てきばきといろいろ仕事をこなしているように見えるかもしれませんが、心
の中では寂しくて、あなたのことをずっと思っています。

コンピュータプログラムを作るのに、工場の中の建物で仕事をした。忙しくて、何日も工場に泊まり、仕事をする。深夜、他の人たちが眠ってしまい、翌朝早く起きるまでの時間、ただ一人、いくつも並んだパソコン端末の1台の前で、キーを叩き続ける。その成果は、必ずしも完成を保證するものではなくても。

降伏を宣言することなどまったく考えずに、朝までの時間が過ぎて行く。

[訳詩] もうあなたのもの

I Surrender, Dear

離れたふりのゲーム
でも、私にはもうできない
あなたなしに、歩けない
あなたに負けたの

We've played the game of stay away
But it costs more than I can pay
Without you I can't make my way
I surrender, dear

お高く止まり、明るく振舞う
それはみせかけ、そうじゃない
心の奥で言う、
もうあなたのもの

I may seem proud, I may act gay
It's just a pose, I'm not that way
'Cause deep down in my heart I say
I surrender, dear

つまらないことをしてる
ゲームみたいに、
愛して欲しいのにスパイスのつもり
でも、もう何を言われてもいい

Little mean things we were doing
Must have been part of the game
Lending a spice to the wooing
But I don't care who's to blame

星が瞬き、夜が始まる
さびしい私の声が聞こえる？
あなたを愛してる、命のすべて
もうあなたのもの

When stars appear and shadows fall
Why then you'll hear My poor heart
call
To you my love, my life, my all
I surrender, dear

Composer :	Harry Barris
Lyrics :	Gordon Clifford
Artist :	Bing Crosby with Gus Arnheim Orch.
Artist :	Louis Armstrong

17 (024) Mack the Knife マック・ザ・ナイフ [JASRAC:0M0-1894-0]

恐ろしきナイフを振るい 暗闇を鮫の如くに潜み行きけり

[解説] 暗闇の中を、まるで深海鮫のように、だれにも気付かれず、音もなく、しかも、周囲をはばかりことなく、威圧しながら進んでいくあなたは、ナイフで恐ろしいことをするのも躊躇わない存在なのだと思う。

カタカタと真夜中、さらに深夜も過ぎて、朝にはまだ早い時間、コンピュータの端末を叩き続ける。広い、誰もいない、作業用端末が整然と何十台も並んだ作業室で、終わっていないコーディングのキーを叩き続ける。遅れている作業予定の線表からはもう何の催促の声もなく、進めるだけ進めればよいのだ。一緒のグループの作業者も、今日はもう、夜遅い仕事を終え、どこかで仮眠している。目を覚まし、走り続ける、マラソンのトップランナーのように、気分をハイにする脳内物質が体を今は支え、誰かがドアをそっと開き、また出て行く気配がした。

朝になったら、近くのホテルのコーヒーとトーストで少しゆっくりする楽しみもある。

[訳詩] マック・ザ・ナイフ

Mack the Knife

鮫のように、鋭い歯を … 真珠色に
光らせ、
まるでジャックナイフ、持つてるマック
… 隠して、見せない。
鮫が噛み付き、その歯で … 真っ赤な
傷口が裂ける
刺繍の手袋で、だからマックの手には、
そう …
血の跡はない

Oh, the shark, has, pretty teeth, dear
… and he shows them, pearly white
Just a jackknife, has macheath, yeah
… and he keeps it, out of sight
When the shark bites, with his teeth,
dear … scarlet billows start to spread
Fancy gloves, though, wears macheath,
yeah
so theres not a trace, hmmmm of red

舗道の脇、日曜の朝 … 流れる血の、
眠り
誰かがそっと隠れて行く、… 角を
曲がり消えるマック・ザ・ナイフ
タグボートから、川の中へ、…
セメント袋、ずり落ち、
あの重さの、袋のセメント、
街にいるのは、マック・ザ・ナイフ

On the sidewalk … sunday morning,
… lies a body oozin life
Someones sneakin round the corner
… is the someone, Mack the knife?
From a tugboat … by the river …
a cement bags, droopin down
Yeah, the cements just for the weight,
dear …
Bet you mack, he's back in town

ルイ・ミラー、見かけないが …… 金も
引き出されてすっかりない
景気の良いマックは、船乗りみたいだ、
…… 何かあった、はずだ。
スーキー・トーディ、ジェニー・ダイバ、
ポリー・ピ・チャム、いい奴だった
ルーシー・ブラウン
だから、これは、きっとそうだ ……
街に帰ったナイフのマッキー

Looky here Louie Miller, disappeared
dear …… after drawing, out his cash
And Macheath spends, like a sailor ……
did our boy do, somethin rash?
Sukey Tawdry, Jenny Diver
(Lotte Lenya) Polly Peachum, sweet
Lucy Brown
Oh, the line forms on the right, dears
…… now that Macky's back in town

Composer :	Kurt Weill
Lyrics :	Bertolt Brecht
Translation :	Marc Blitzstein
Artist :	Louis Armstrong

18 (041) Alexander's Ragtime Band アレキサンダーズ ラグ
タイム バンド

[JASRAC: 0A0-1170-7]

楽隊が通る街賑やかに 踊り手は手を振り人を招きつつ行く

[解説] 何かのパレードで楽隊と踊り手が通るのを見物していた。踊り手は踊りながら、見物に向かって、あちこち手を振ったりしていた。

横浜の大通りを歩いていると、楽隊のパレードが次々とやって来た。

両側の舗道は見物の人が厚い人垣を作っていた。

ジャズ楽団の一隊が賑やかに通り過ぎて行くその中に、ひときわ、切れるサキソフォンの音が流れる。バンドリーダーだろうか。それもやがて、遠く離れて聞こえなくなった。

[訳詩] アレキサンダーズ ラグタイム バンド Alexander's Ragtime Band

来て聞いて、来て聞いて、
アレキサンダーズ ラグタイム バンド
来て聞いて、来て聞いて、世界一の
バンドさ
聞いたこともない、ラッパの音、
いつのまにか勇気も湧く、
最高のバンドさ、さあ、みんな、

Come on and hear, come on and hear
Alexander's Ragtime Band
Come on and hear, come on and hear
'Bout the best band in the land
They can play a bugle call like you
never heard before
So natural that you wanna go to war
That's just the bestest band what am,
oh Honey Lamb

来て聞いて、来て聞いて、一緒に手を
繋いで、
あの人、バンドのリーダーのところ
行こう
スワニーリバーをラグタイムで聞きたい
なら
来て聞いて、
来て聞いて、
アレキサンダーズ ラグタイム バンド

Come on along, come on along
Let me take you by the hand
Up to the man, up to the man
Who's the leader of the band
And if you want to hear that Swanee
River Played in a ragtime
Come on and hear,(come on and hear)
Come on and hear,(come on and hear)
Alexander's Ragtime Band

来て聞いて、
来て聞いて、
アレキサンダース ラグタイム バンド
来て聞いて、
来て聞いて、
世界一のバンドさ
聞いたこともない、ラッパの音、

(whistle)

最高のバンドさ、さあ、みんな、

来て聞いて、来て聞いて、
来て聞いて、来て聞いて、
一緒に手を繋いで、
あの(すごい)人の、今話したあの人の
ところに行こう
バンドリーダーのところに、
スワニーリバーをラグタイムで聞きたい
なら

来て聞いて
来て聞いて、
アレキサンダース ラグタイム バンドを
アレキサンダース ラグタイム バンド

Come on and hear,(come on and hear)
Come on and hear,(come on and hear)
Alexander's Ragtime Band
Come on and hear,(well here I come)
Come on and hear,(I'm standin' right
here)
It's the best band in the land
They can play a bugle call like you
never heard before
Whistle, that's just the bestest band
what am, oh Honey Lamb

Come on along, come on along
Come on along, come on along
Let me take you by the hand, here's
my lily whites
Up to the man, the mighty man
I'm talkin' 'bout the man, mm, the
leader of the band
And if you care to hear that Swanee
River played in ragtime
Come on and hear, come on and hear
Come on and hear, come on and hear
Alexander's Ragtime Band, Alexan-
der's Ragtime Band

Compose & Lyrics : Irving Berlin
Artist : Bing Crosby & Al Jolson

19 (073) My Funny Valentine マイファニーバレンタイン

[JASRAC:0M0-8950-2]

バレンタインと呼びし少年の 大人になりて我を去り行く

[解説] バレンタインという名前の可愛い少年がいたが、いつか大人になり、自分のそばにはいなくなってしまった。

湘南の海でさくら貝を拾う。腰越漁港から江ノ島に渡る橋のあたりまで、散歩のついでに足を伸ばす。朝、波打ち際から、目の届く範囲の砂浜を、ピンクに光るさくら貝を探す。見つけたら、砂から取り上げ、その砂を、海の波の引返す瞬間に洗い、葉の空の小瓶に入れる。蓋を捻って閉めて、また探し始める。大きなものは、幅3 cm、小さなものは1 cm ぐらいだろうか、多くは貝の片側で、2枚上下に継がったものは少ない。1つ1つ拾いながら、何ごとか呟く。家に帰ったら、玄関の靴箱の上にこの瓶を置こう。既に1つの、さくら貝の一杯に詰まった小瓶があるのだ。

バレンタイン少年も、黙って、少し壊れた笑いを笑った。いつまでも変わらないこと、それはできない。

[訳詩] マイファニーバレンタイン

My Funny Valentine

マイファニーバレンタイン

My Funny Valentine

可愛いバレンタイン

Sweet comic valentine

私をなごませる

You make me smile with my heart

おかしい顔で

Your looks are laughable

写真は無理

Unphotographable

でも、芸術品ね、大好き

Yet you're my favorite work of art

ギリシャ彫刻でないし、

Is your Figure less than Greek?

口元は少しゆるくて、

Is your mouth a little weak?

話すのに開くとき

When you open it to speak

もつれそう

Are you smart?

でも、何にも、

But don't change a hair for me

変えないで、好きなの、

Not if you care for me

ここにいて、バレンタイン

Stay little valentine stay

どの日もバレンタイン・デイ

Each day is Valentines day

ギリシャ彫刻でないし、
口元は少しゆるくて、
話すのに開くとき
もつれそう

でも、何にも
変えないで、好きなの、
ここにいて、バレンタイン
どの日もバレンタイン・デイ

Is your figure less than Greek
Is your mouth a little weak
When you open it to Speak
Are you smart?

But don't change a hair for me
Not if you care for me
Stay little valentine stay
Each day is valentines day.

Composer :	Richard Rodgers
Lyrics :	Lorenz Hart
Artist :	Frank Sinatra
	: Chet Baker

20 (090) When the Saints Go Marching In 聖者の行進

[JASRAC:0P4-0212-1]

高らかに笑いつつ行く聖者達 我も混じりて行進せむか

[解説] 聖者と呼ばれる人たちが一緒に並んで行進する夢を見た。みんな、大きな口を開けて笑っていた。それを見て、自分もその中に混じって一緒に歩きたいと思った。

おもちゃ屋の店先にワニのぬいぐるみを探して歩く。上野、銀座、澁谷、それから、原宿まで。地下鉄で、冬の夕方、クリスマスのイブイブ、既に日は暮れて、それらしく明るいネオンが街を照らし出している。ビルの上にあるおもちゃ屋で、ピンクのワニのぬいぐるみを見つけた。やや大きいのと小さいの、ちょうど、いろいろな動物のぬいぐるみの山の中に顔を出していた。世の中に同じ考えの人もあるらしい。なぜかワニのぬいぐるみはどこにも見つけれなかったのに。

サンタクロースが街々を駆け回っているとき、遠くの目的地に向かうサンタクロースの団は、袋を肩に、一列に並んで行進し、歩いて行く。

クリスマスにサンタクロースの扮装をした人が見知った人だったとき、その人はなぜ赤い服をきているのだろうと疑問に思った。

[訳詩] 聖者の行進

旅をする、道の
足跡をたどって
私たち、また出会う (でも私たちがまた
きっと出会う)
新しい、海辺で (新しい世界が始まる)

聖者の、Oh、行進
聖者が行くとき
Oh、私も入りたい
聖者の行進

お日様が輝きを止める
(始める)
お日様が輝きを止めるとき
(始める)

Oh、私も入りたい
聖者の行進

When the Saints Go Marching In

We are traveling in the footsteps
Of those who've gone before
But we'll all be reunited (but if we
stand reunited)
On a new and sunlit shore (then a new
world is in store)

Oh when the saints go marching in
When the saints go marching in
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

And when the sun refuse (begins) to
shine
And when the sun refuse (begins) to
shine
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

お月様、血の色で
お月様が、赤い血の色、
Oh、私も入りたい
聖者の行進

When the moon turns red with blood
When the moon turns red with blood
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

その日に、ハレルヤ
その日に、ハレルヤ
Oh、私も入りたい
聖者の行進

On that hallelujah day
On that hallelujah day
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

トランペットの呼ぶ声
トランペットの呼ぶ声
Oh、私も入りたい
聖者の行進

Oh when the trumpet sounds the call
Oh when the trumpet sounds the call
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

悩みだけ、それだけが
私たちのもの、だというけど
でも私は朝を待つ
世界が現れるとき

Some say this world of trouble
Is the only one we need
But I'm waiting for that morning
When the new world is revealed

新しいときが来る
(革命)
新しいときが来るとき
(革命)
Oh、私も入りたい
聖者の行進

When the revelation (revolution)
comes
When the revelation (revolution)
comes
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

金持ちが働く
金持ちが働くとき
Oh、私も入りたい
聖者の行進

When the rich go out and work
When the rich go out and work
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

空が澄んで、きれい
空が澄んで、きれいなとき
Oh、私も入りたい
聖者の行進

When the air is pure and clean
When the air is pure and clean
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

みんなに食べる物が
みんなに食べる物があるとき
Oh、私も入りたい
聖者の行進

私たちの、リーダー
あいつが、泣くとき
Oh、私も入りたい
聖者の行進

When we all have food to eat
When we all have food to eat
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

When our leaders learn to cry
When our leaders learn to cry
Oh lord I want to be in that number
When the saints go marching in

Composer :	Traditional
Lyrics :	Traditional
Artist :	Louis Armstrong

21 (003) Am I Blue ブルーな気持ち

[JASRAC:0A0-1970-8]

捨てられしならむ 昨日までと変わり朝顔の花憂しと思ひぬ

[解説] 私はもう捨てられたのかもしれないと思う。朝顔の花も、昨日と違って、その青い色を見ると、何か、寂しい、憂鬱な気分になってしまう。

朝顔が庭に咲いた。何本かの蔓に上から下までそれぞれに青と淡いピンクの朝顔が咲いた。いくつかは蕾のまま。その薄淡い色合いに少し物足りなく思いながら、日が高くなったら、朝顔のことはもう忘れていないに違いないと思った。

朝顔が、日が高くなって、「寂しいの？」って誰かに聞かれたら、「見たらわかるでしょ。」と答えると思う。

[訳詩] ブルーな気持ち

Am I Blue

「朝、夜明け前の早い時間だった、いきなり、彼が行くって分かったの。ひどいわ、なぜ、そうしなくちゃいけないの？前にこんなことはなかったのに。」

It was a morning, long before dawn
Without a warning I found he was gone
How could he do it
Why should he do it
He never done it before

落ち込むわブルー。
とってまブルー。
涙で分かるでしょ。そうなの。

Am I blue
Am I blue
Ain't these tears, in these eyes telling you

「寂しい？」って聞くの？
平気なの、あなた？
彼のこと、
だめになったら、
そうでしょ？

How can you ask me "am I blue"
Why, wouldn't you be too
If each plan
With your man
Done fell through

そう、昔はね、
彼は私だけで、
今は違う、
一人で、悲しく、寂しい。
明るくて、
今日までは。

There was a time
When I was his only one
But now I'm
The sad and lonely one, lonely
Was I gay
Until today

今、彼はいないわ、終わったの。
とってモブルー。

Now he's gone, and we're through
Am I blue

Composer :	Harry Akst
Lyrics :	Clarke Grant
Artist :	Billie Holiday

22 (028) Once in a While ときどき思い出してね

[JASRAC:000-2020-8]

時過ぎてふと思い出ぬ 去りし人の我が思い出は如何にかあるらむ

[解説] ずいぶん前のことになるけど、もう別れてしまったあの人のことを思い出すこともあって、そのときは、私のことをあの人は今はどう思っているのか知りたくなる。

ボストンに出張した4週間の最後の日、ホテルに戻り、チェックアウトの用意を済ませ、最後の米国の夜のTVを見る。翌朝は、早い時間の出発なので、すぐにベッドで目を閉じた。明日の朝、彼ら(米国チーム)は、日本語版リリースのソフト一式をFDに焼いて、渡すはず。今日はとうとう、手元には届かなかった。それを受け取り、手配済みのボストン空港までのハイヤで、もう帰るだけだ。

翌朝早く、まだFDの到着の知らせはなく、フロントに出てチェックアウトし、荷物を手にも外に出る。ハイヤが来さえすれば、ただ、それに乗り、運ばれるだけ。手ぶらでもいいのだ。1台の車がホテルのフロントの前庭を優雅に回り、目の前に止まった。ハイヤのリンカーンだ。初老の運転手に、念のために、あらためて料金を聞く。車がもう一台、ホテルの前庭を周回し、目の前に付けた。日本チームの2人がFDの入った箱を2箱手渡してくれた。ジャストインタイムに。そのままリンカーンで帰途に着いた。空港までの朝の道路は晴れて、明るく、運転手との会話も、なれない耳に少し分かり、当たり前のように、すべてが終わった。

あのときの運転手、ホテルのフロントマン、日本チームの二人は、このときのことを思い出すことがあるのだろうか。

[訳詩] ときどき思い出してね

Once in a While

思い出、ときには、私のことも？
誰か、あなたのそばにいても
ふたりで過ごした日の夢は見る？
もう別れてしまったけど

Once in a while will you try to give
One little thought to me
Though someone else may be
Nearer your heart?
Once in a while will you dream
Of the moments I shared with you
Moments before we two
Drifted apart?

燃え尽きた愛の火花、残っていないの
1つも？

In love's smoldering ember
One spark may remain

思い出の火花、もう、燃え上がることは
ないのかしら？
遠い日の思い出だけでいい、私、
あなたの思い出にいるなら

If love still can remember
That spark may burn again
I know that I'll be contented
With yesterday's memory
Knowing you think of me
Once in a while

Composer :	Michael Edwards
Lyrics :	Bud Green
Artist :	Ella Fitzgerald
	: Frank Sinatra &
	Tommy Dorsey

23 (075) On a Slow Boat to China ボートでゆっくり、チャ
イナ

[JASRAC:000-1450-0]

金色に光れる小舟に君を乗せて 遠き浜辺に漕ぎ寄せ行かむ

[解説] 池に浮かぶような、手でオールを漕ぐ小舟に、あなたと二人乗り、ずっと遠くの方まで、その浜辺まで漕いで行きたいと思う。きっとその小舟は金色に輝いていると思う。

ボストン近郊の町へ行くのに、成田から飛行機で、シカゴ経由でボストンに着いた。空港でレンタカーを借り、目的地のホテルに向かう。当時ボストンでは、小澤征爾が交響楽団の指揮者でいた。日本から行ったグループは、その後、3～4週間居て、11月の感謝祭の頃帰国した。感謝祭のボストンは、昔の日本のお正月のように、店は閉まり、仕事の雰囲気はなかった。

遠くの国に船で行き、邪魔する者のいないところに二人居て、月は輝き、うろたえ騒ぐ者たちの遠くの岸辺が屋気楼のように浮かぶのだ。

[訳詩] ボートでゆっくり、チャイナ

On a Slow Boat to China

あなたと行く、
ボートでチャイナ、
誰にも渡さず、

I'd love to get you
On a slow boat to China
All to myself, alone.

ずっと胸に、
抱きしめ、
ライバル達は、
遠くの浜で泣いている

Get you and keep you
In my arms evermore
Leave all your lovers
Weepin' on the far away shore

(待つだけ!)

(waiter!)

海の向こうで、
月は大きく輝き、
あなたの心も溶ける、
あなたと行く、
ボートでチャイナ、
誰にも渡さず、

Out on the briny
With a moon big and shiny
Melting your heart of stone
Honey I'd love to get you
On a slow boat to China
All to myself, alone.

– spoken:

”who’s steering the boat?”

”who’s steering this boat?”

”waiter!”

”may i get a drink around here,
now uh…?”

"you ever been on a cruise?"

"neither have i!"

(instrumental)

"...isn't that a good one?"

"yes, can i see you later, you bet!"

"excuse me, i have to go back to
the bandstand now"

あなたと行く、
ボートでチャイナ、
誰にも渡さず、
舵はゆがみ、
セイルも少し裂けて、
漂い、夢を見る
コンパスも海に投げる

海の彼方、
どんな騒ぎも遠く、
あなたの心も溶ける、
大好きなあなたと、
ボートでチャイナ、
誰にも渡さず、

(i have to go now)

(wait! don't leave!)

大好きなあなたと、
ボートでチャイナ、
誰にも渡さず、

– spoken:

"you know our last set is at two"

"i get off after that"

"what you doin'?"

"would you like to take a stroll
around the upper deck?"

"see you then"

"maybe, oo-hoo"

I'd love to get you
On a slow boat to China
All to myself, alone
A twist in the rudder
And a rip in the sail
Drifting and dreamin'
Honey throw the compass over the rail

Out on the ocean
Far from all the commotion
Melting your heart of stone
Honey I'd love to get you
On a slow boat to China
All by myself alone

(I have to go now)

(Wait! Don't leave!)

Honey I'd love to get you
On a slow boat to China
All to myself, alone.

Composer :	Frank Loesser
Lyrics :	Frank Loesser
Artist :	Jimmy Buffett

心に思うこと何もいらずして ただ口を強く吸われたし今

[解説] 愛しているとかいないとかはどうでもいい。今はただ、抱いてキスして欲しいの。

日本橋のはずれのビルのエレベータで行った上の階に、3階か、4階かのバーに座っていると、オカマのママが、まだ早い時間の店内を整え、客の一人と立ち話をしたり、落ち着かなく開店の準備をしている。カラオケで誰かが「夜霧よ今夜もありがとう」を歌い、ママが気を利かせてフロアに誘う。席のソファで客の女がヒステリックに叫ぶ、「私が…!」、ママが大急ぎで駆けつけ、何か宥めるようなことを言った。

YouTube で見る女歌手は、もう昔に習い終わったはずの恋の歌を歌い、灰になっても変わらない愛の夢を紡いだ。

[訳詩] ベサメムーチョ

Besame Mucho

ベサメ、ベサメムーチョ
あなたとのキス、
いつか終わっても、
ベサメムーチョ
私を抱いて、
私だけを、

Bsame, bsame mucho
Each time I cling to your kiss, I hear
music divine
Bsame mucho
Hold me my darling and say that you'll
always be mine

こんな嬉しさは
初めて、この
震える気持ち
思いもしない、
抱き締め、
ささやく、「あなたが好き」

This joy is something new
My arms enfolding you
Never knew this thrill before
Whoever thought I'd be
Holding you close to me
Whispering "It's you I adore"
Dearest one
If you should leave me
Each little dream would take wing,
and my life would be through
Besame mucho
Love me forever and make all my
dreams come true

あなたが 離れるとき、
夢も飛び去り
私は終わる
ベサメムーチョ
ずっと愛して
夢を見させて

(Spanish)

Bésame, BÉSAME MUCHO -
Como si fuera esta noche la
ultima vez,
BÉSAME MUCHO -
Que tengo miedo perderte,
perderte otra vez.
Quiero tenerte muy cerca,
mirar me en tus ojos
verte junto a mi.
Piensa que tal vez mañana
yo ya estaré lejos
muy lejos de ti.

Compose & Lyrics : Consuelo Velazquez
Translation : Sunny Skylar
Artist : Josephine Baker

25 (039) Where or When どこかで、いつか [JASRAC:0W0-3130-7]

いつしかも会いしにやあらむ誰も知らず 笑い愛せる時を思いぬ

[解説] いつか以前に会ったことがあるかどうか誰も知っている人はいないけど、私は知ってるの。あのお互いに笑いあって過ごした日のことを思い出します。

いつしかも会いしにやあらむ 懐かしき声と姿を互みにぞ見つ

[解説] いつか以前に会ったことがあるのかも知りません。その声と姿はなぜか懐かしい気持ちで見えてしまいます。あなたもそんな感じがしているから、そんな風に私のことを見るんですよ。

夜、明るいネオン通りに囲まれて、傍らの地下への小さな入り口、階段のぼんやり灯の灯る先を見た。舗道の看板には今夜のライブの出演者の名前があった。ボーカル (Vo) に見知った名前を見て、長い階段を降り、木製の重めの扉を押して入った。女のジャズ歌手が歌った歌は、陽気で、小さなハンマーで人の心を叩いた。そして、歌の意味は曖昧なままに、ぼけ老人の歌を歌った歌手は、越路吹雪を思わせる動きと表情を見せて、その回のステージを終わった。このとき思ったのは、「シャンタール レアリテ (Chanteur Realite)」という思いつきの言葉で、「シャンタール ベリテ (Chanteur Verite)」かも知れないと思った。

初めてのことがもう一度起きてるなら、それは初めてのことでないし、また、やっぱり初めてのことでもいいとも思った。

デジャビュ (既視感) だというこの歌。それが初めてのことにしていることなら、記憶はどこまでも遡るのだろうか。

いつしかも会いしにやあらむ初めの日 我さえ人も覚えざるめり

[解説] いつか以前に会ったことがあるかも知れない。その初めて会った日のことは、あなたも、私自身も、覚えていないようです。覚えていないということだけは、ほぼ、間違いないことのようにです。

いつしかも会いしにやあらむ 懐かしき思い浮かびて心騒ぎぬ

[解説] いつか以前に会ったことがあるんでしょうか。懐かしい気持ちがして、心がどきどきしてしまいます。

[訳詩] どこかで、いつか

Where or When

会ったことがある私たちね、

It seems we stood and talked like this before

同じように、二人見詰め合った、
でも、思い出せない、そのとき、

そのとき着てた服も、覚えてるし、
今も、笑ってる、でも、
思い出せない、その場所

そのとき初めてのことが
もう一度、起きてる気持ち、
笑って、愛し合った、
あのとき、でも、もう分からない、
いつどこかは

We looked at each other in the same
way then
But I can't remember where or when

The clothes you're wearing are the
clothes you wore
The smile you are smiling you were
smiling then
But I can't remember where or when

Some things that happened for the
first time
Seem to be happening again
And so it seems that we have met
before
And laughed before, and loved before
But who knows where or when?

Composer :	Richrd Rodgers
Lyrics :	Lorenz Hart
Artist :	Harry Connick, Jr.
	: Peggy Lee

人の見るとき我は振る舞い捨て行きぬ 心の思いあきらめしに似て

[解説] 人が見ている中では、私はそれなりに仕事をしているように見せているけど、本当に心で思っていることは考えないようにしているんです。それって、諦めてるのとおなじことかも知れませんが。

銀座の新橋寄りのジャズライブの店に、地下への階段を下りて入った。ジャズを聞きながらワインを飲むというアイデアに自分で感心しながら、歌を聞き、グラスを倒さないように気をつける。

ブリー・ホリディの「フーリンマイセルフ」を歌う歌手がいて、その当時の米国の「フリントン」大統領との駄洒落でジャズライブの客の笑いを取った。

聞きながら、酒場の客の入りを確認、次のステージに歌う演目の構成を考え、終わった後の今日の帰りの予定、や、今週、今月、の予定のことを、いろいろ考えるのだろうか。その日のピアニストは、ずい分とピアノを強く叩き、彼女のステージ衣装の肩の金モールが心細く揺れた。

人の見るとき我は振る舞うばかりにて 鏡に一人我を確かむ

[解説] 人が見ている中では、私はそれなりに仕事をしているように見せているけど、それは本当の自分ではないと思っていて、後で一人になったときには、本当の自分を確かめるために鏡に見入ったりします。

[訳詩] 自分でなくて

Foolin' Myself

あなたのこと、考えないようにしても、
なぜか、
そうしようとしている、
自分が分からなくなるの

I try to keep you out of my heart
But somehow I find
Trying to keep you out of my heart
I'm out of my mind

「終わったの、何もかも、
もう関係ない」、そう言い
あなたを遠ざけ、
毎日嘘をついてる

I tell myself, "I'm through with you
And I'll having nothing more to do
with you"
I stay away, but every day
I'm just foolin' myself

「気にしてない」、そう、友達に言う、
そして肩をすくめて見せる
でも、みんなは知ってるの、自分に
嘘をついてるだけ

ふとしたときにいつでも、
鏡で自分を見て、
帽子を指であげて言うの、
「こんにちは、おばかさん、
人生をあきらめてる」

楽しく振る舞い、
立派にして、
あなたを見つげるときは、いつも
知らない振り、
でもそうして
嘘をついてるだけ

Tell my friends that I don't care
I shrug my shoulders at the whole af-
fair
But all know it isn't so
I'm just foolin' myself

And ev'ry time I pass
And see my face in a looking glass
I tip my hat and say
"How do you do, you fool?
You're throwing your life away"

I'm acting gay,
I'm acting proud
And every time I see you in a crowd
I may pretend
But in the end
I'm just foolin' myself

Compose & Lyrics :	Jack Lawrence, Peter Tinturin
Artist :	Billie Holiday

27 (034) Sometimes I'm Happy ときどき幸せ [JASRAC: 0S0-6520-7]

好きと嫌い不幸と幸せ取り混ぜて 君に魔法を掛けむと思う

[解説] 好きとか嫌いとか、不幸も幸せも、いろいろごちゃ混ぜにしてあなたに見せて、あなたが訳が分からなくて混乱してしまうとき、その際に、ぼくの思い通りになるような魔法をあなたにかけようと思う。

みんなと机を並べて仕事をしたのは、いつのことだったか。自分より低年齢の人たちに混じり、彼らの仕事に困惑し、ときには微苦笑しながら、机の間を泳ぐとき、自分の居るのは、今、目の前の会社の仕事空間とは少しずれた空間のように思った。投げたボールが誰かの手に届くとき、それは、思いもしなかった仕事の成果のように思われたり、誰かが、我知らず投げたボールを少しずれた空間で掴むとき、自分が何をしたかも分からずに、物事が片付いているのを見るかもしれない。そうでなく、投げたボールが届かなかったとき、ボールはこの空間のずれに落ちているはず。好きになったり、嫌いになったり、嫌いだから好きになったり、好きだから嫌いになったりを、こんな仮説で説明できないだろうか。

[訳詩] ときどき幸せ

Sometimes I'm Happy

ときどき幸せ
ときどき憂鬱
わたしの気分はあなた次第
雨が降ろうとかまわない
あなたの目に太陽がある

Sometimes I'm happy
Sometimes I'm blue
My disposition depends on you
I never mind the rain from the skies
As long as I have the sun in your eyes

ときどき愛してる
ときどきは嫌い
嫌いになるのは
愛してるから
それが私
どうすればいい
幸せよ、あなたといれば

Sometimes I love you
Sometimes I hate you
When I hate you
It's because I love you
That's how I am
So what can I do
I'm happy when I'm with you

ときどき幸せ
ときどき憂鬱
わたしの気分はあなた次第
雨が降ろうとかまわない
あなたの目に太陽がある

Sometimes I'm happy
Sometimes I'm blue
My disposition depends on you
I never mind the rain from the skies
As long as I have the sun in your eyes

ときどき愛してる
ときどきは嫌い

嫌いになるのは
愛してるから
それが私
どうすればいい
幸せよ、あなたといれば
幸せよ、あなたといれば
幸せよ、あなたといれば

Sometimes I love you
Sometimes I hate you

When I hate you
It's because I love you
That's how I am
So what can I do
I'm happy when I'm with you
I'm happy when I'm with you
I'm happy when I'm with you

Composer :	Vincent Youmans
Lyrics :	Irving Caesar, Clifford Grey
Artist :	Nat King Cole : Joni Mitchell

先に行きし人の宿りは何処にか 広き野原に跡を尋ねむ

[解説]の道を通して先に行った人は、どこで泊まったりしたのだろうか。この広大な野原の中で、どんな風に進んで行ったのか知りたいと思う。

病院のベッドで、あるいは、思いがけないどこも知れない暗闇で、目を覚ますことのない眠りに入る。病院の手術前の麻酔注射で、明日の朝目が覚めるいつもの眠りのように眠る。川そばの、放って置かれた野原の葦の群れのように、集まって生えている自分たち一人ひとりの顔を見ながら、パスカルの言った、「人間は考える葦である」という言葉の意味を思った。そよそよ風に揺れ、伸び立つ葦の群れ。それが自分たちであることは確かだ。地上の動物と植物の違いは、そんなにひどく大きくはないのかも知れない。

英語で歌う歌手は、「食べ尽くし、吐き出す」と歌い、表情を歪める。道はどこにもなく、移動する手段のない葦の見た夢にでもなるのだろうか。

[訳詩] マイウェイ

My Way

そして、今、終わる
最後のカーテン
みんなに言いたい
はっきり分かったこと

And now, the end is near;
And so I face the final curtain.
My friend, I'll say it clear,
I'll state my case, of which I'm certain.

やるだけやって、
どんな道も歩き通した
でも、自分の道を
歩いたただけ

I've lived a life that's full.
I've traveled each and every highway;
And more, much more than this,
I did it my way.

後悔は、少しある、
でも、言うほどのことはない、
すべきことをして、
最後まで、やり抜いた、

Regrets, I've had a few
But then again, too few to mention.
I did what I had to do
And saw it through without exemption.

行く道を決めた、
裏道にも、気をつけて、
でも、自分の道を
歩いたただけ

I planned each charted course, each
careful step along the byway
And more, much more than this, I did
it my way

そう、そうさ、ときには、
できないことまで、した、
でも、疑いや、何があっても、
食べつくし、吐き出した。
まっすぐに、立ち向かい
歩いた道

愛して、笑って、泣いた、
十分に、失くした。
今、涙はなく、
どれも、楽しい思い出

自分のこれまでは、
言ってもいいなら、本当に、
「自分は何もない、
道を歩いただけ」
人って何だろう、そのしたことって？
自分がないなら、何にもない。
素直に、そう思う。

そして今、膝をつき、
言葉はなく、倒れる、
歩いた道。
自分の道を歩いた

Yes, there were times, I'm sure you
knew
When I bit off more than I could
chew.
But through it all, when there was
doubt,
I ate it up and spit it out.
I faced it all and I stood tall;
And did it my way.

I've loved, I've laughed and cried.
I've had my fill; my share of losing.
And now, as tears subside,
I find it all so amusing.

To think I did all that;
And may I say - not in a shy way,
"Oh no, oh no not me,
I did it my way".

For what is a man, what has he got?
If not himself, then he has naught.
To say the things he truly feels;
And not the words of one who kneels.
The record shows I took the blows -
And did it my way!
Yes, it was my way.

Composer :	Jacques Revaud, Claude Francois
Lyrics :	Gilles Thibaut, Lucien Thibaut
English Lyrics :	Paul Anka
Artist :	Frank Sinatra

29 (052) Cow Cow Boogie カウボーイブギ

[JASRAC: 0C0-5231-1]

町に近き牧場で牛を追うカウボーイ 犬を追いつつ調子よく歌う

[解説] サンタフェの町の近くの牧場のカウボーイは、歌ったり、口笛を吹いたりしながら、犬を上手に使い、牛を追っている。その歌は、都会ではやっているジャズの曲のようで調子がいいけど、少し訛っている。

木曜日の朝、早く家を出た。出勤の途中に、銀座の茶店でコーヒーを飲みながら、今日一日のことを考える。窓の外の通りは、おしゃれな店、YAMAHA や LANVIN が並ぶ。通りを歩く人はまだ少なく、通勤の人、老人、道路やお店の清掃の人が行き交う。ふと、サンタフェにあるという草原の牧場を思う。BGM はイージーリスニングなピアノのポピュラー曲があくまでも柔らかかに聞こえる。牧場では、馬に乗ったカウボーイが牛を追い、犬も何匹か、牛を追いつつ、カウボーイの仕事を助ける。追う側は忙しく、追われる側は、ただ、自然の法則に従うだけのように群れが流れる。カウボーイの思うのは、仕事の後の飲み屋、東部のジャズを演奏する楽団と歌手。そのメロディを口笛で吹いてみると、牧場の仕事の土の香りも、それはアスファルトで舗装された、あるいは敷石の通りの中を気持ちよく歩いて行く気分になる。ジャズのメロディがサンタフェのなまりでデフォルメされていても。

[訳詩] カウボーイブギ

Cow Cow Boogie

サンタフェの草原でのこと、
ある日見た、牛を追うカウボーイ、
馬に乗り、聞こえるその歌、
とても変なカウボーイソング
町で覚えた、尻切れトンボ
カマタイエイ
カマタイビティエイ
走れ、ドギーズ、元気に、
走れ、思い通りに、
走れ、ドギーズ、元気に、
いつも通りのフェアウェイ、
追って行く変なカウカウブギ、歌い、

Out on the plains down near Santa Fe
I met a cowboy ridin' the range one
day
And as he jogged along I heard him
singin'
The most peculiar cowboy song
It was a ditty, he learned in the city
Comma ti yi yi yeah
Comma ti yippity yi yeah
Now get along, get hip little doggies
Get along, better be on your way
Get along, get hip little doggies
He trucked 'em on down that old
fairway
Singin' his Cow Cow Boogie in the
strangest way

カマタイイエイ
カマタイピティエイ

(chorus)

そのカウボーイソング、
ただ、すごい、
デキシー入りのアクセントは本物ウェス
タン、
ここで育ったそのままに、
スイングのハーフブリード、
変なカウカウブギ歌ってる

カマタイイエイ
カマタイピティエイ

Comma ti yi yi yeah
Comma ti yippity yi yeah

Now singin' his cowboy songs
He's just too much
He's got a knocked out western accent
with a dixie Touch
He was raised on local ways
He's what you call a swingin' half
breed
Singin' his Cow Cow Boogie in the
strangest way
Comma ti yi yi yeah
Comma ti yippity yi yeah

Compose & Lyrics :	Benny Carter, Gene De Paul, Don Raye
Artist :	The Judds : Ella Fitzgerald

30 () Croce di Oro クローチェ・ディ・オーロ [ASRAC:0C2-5301-5]

この後の航海を思い 遠き日に心に秘めしことを忘れず

[解説] これから長い航海に出る。昔、思っていたことを実現するときが来たのだと思う。それは誰にも口に出していったことはなかったけれど。

ブラジルからもサンパチームが来て、サンパカーニバルのパレードを浅草でやっているのを見る。リオデジャネイロの喧騒、そして、丘の上に立つキリスト像。日本から見て地球の裏側の遠く離れた所の人たちの生活が、日本の浅草の三社祭の喧騒と重なる。

船で行く旅はどれほど長いものだろうか。外国に船で行くとき、そして、仕事先の仕事を終わり、日本への帰途に就くまでに、気の遠くなる時間の道のりがそこにある。

クローチェ・ディ・オーロ、金の十字架。金の文化を持ったマヤとかアズテカを滅ぼしたスペイン人、ポルトガル人の故国での出発の思い出が反映されているのだろうか。

[訳詩] クローチェ・ディ・オーロ

Croce di Oro

あなたは行くのね、明日の朝
遠く海の向こうに
あなたにあげる、このクローチェ・ディ・
オーロ
あなたを無事に連れ帰ってくれる

You'll be gone when the dawn comes
tomorrow
You'll be far, far away out at sea
So I give you this croce di oro
It will bring you home safely to me

離れている時間はつらい
教会のキャンドルが光る
この愛とクローチェ・ディ・オーロ
わたしは祈る、あなたの帰る日

Ev'ry hour we're apart will be sorrow
In the chapel a candle will burn
Take my love and this croce di oro
I will pray for you till you return

好きなの、あなたを、とても
あの青い星が見える？
いつも、その星に言う言葉
その星があなたに届けてくれる

My darling, my darling, my darling
Do you see that star in the blue?
Each night I will give it a message
And the star will give it to you

私たち、また会う、ずっと先の明日に
それまで神様護ってね
このクローチェ・ディ・オーロで
あなたは、この腕に戻るの

このクローチェ・ディ・オーロで
あなたは、この腕に戻るの

Till we meet on that far-off tomorrow
May the Good Lord be with you and
then
With the help of this croce di oro
You'll be back in my arms once again

With the help of this croce di oro
You'll be back in my arms once again
(croce di oro)

Compose & Lyrics : Kim Gannon Artist : Patti Page
--

31 (033) Smoke Rings スモークリング

[JASRAC:0S0-5350-1]

輪になりて煙草の煙連ねしを 空しく消えぬ我が愛の如く

[解説] 煙草の煙を輪にしてつぎつぎ吐き出してみた。その輪になった煙は、少し上
に上がって、まもなく、次々と消えて行った。それは、私の愛と同じように、
どれも、一つ一つ、順に消えて行った。

ファントムパレードって何だろう。米軍の戦闘機に「ファントム」という機種があっ
た。「オペラ座の『怪人』」もファントムだ。

煙の輪に連れて行ってと歌うとき、一緒に消えて行きたいということなのだろうか。
空しく消えた愛の夢。ゆっくりした静かな夜に空白の時を埋める白い煙と、思い出
を、同じ眼差して見つめる人がある。世をはかなむということだろうか。

夜去りて煙草の煙吐きおれば 輪の連なりて空しく消えぬ

[解説] 夜に煙草を吸って、煙を吐き出していたら、その煙は輪になって、そして、
ただ消えていだけだった。

[訳詩] スモークリング

Smoke Rings

教えてどこに行くの
夜吐く私の煙
青くて白い輪は何をしてるの
どうして愛の夢を描いてるの
どうして愛の幻をいくつも消すの

Tell me where do they go
These smoke rings I blow each night
What do they do these circles of blue
and white
Why do they seem to picture a dream
of love
Why do they fade my phantom parade
of love

パフ、パフ、パフ、パフ、心配はもうない
パフ、パフ、パフ、いつでも
空に小さな絹の輪を吐く
いとしいスモークリング、あなたと一緒に
にどうか行かせて

Puff puff puff puff your cares away
Puff puff puff night and day
Blow blow them through the air silky
little rings
Those little smoke rings I love take me
above with you

パフ、パフ、パフ、パフ、心配はもうない
パフ、パフ、パフ、いつでも

Puff puff puff puff your cares away
Puff puff puff night and day

空に小さな絹の輪を吐く
いとしいスモークリング、どうか連れ
てって空に
あなたと一緒に

Blow blow them through the air silky
little rings
Those little smoke rings I love please
take me above
Take me with you

Composer :	H. Eugene Gifford, H. Ned Washington
Lyrics :	H. Eugene Gifford, H. Ned Washington
Artist :	K. D. Lang

32 (029) On the Sunny Side of the Street 陽の当たる通りに 出よう

[JASRAC:000-1840-8]

歩みいる暗き片側から道を替え 明るき方を歩いて行かむ

[解説] 今歩いている道は暗く、寒いので、反対側の、陽の当たっている明るい方の道を歩いて行くことにした。その方が暖かいし。

日本橋の三越寄りに橋を越えた交差点の角に、スタバと呼ばれるコーヒ屋がある。近くの人形町には明治座がある。その向こうに、隅田川が、川幅がマイルの川で流れ、その上を高速が行き交い、総武線の電車がガタガタと鉄橋を通過する。窓側の席は日本橋が目前にあり、そこで、お茶を飲みながら交差点の人を見ていた。ちょうど、明後日から明治座で開く芝居の女優に似た雰囲気、女が交差点で振り向いた。どこか見えなくなり、そして、スタバの入り口で中を覗き、それから、外のテーブルの椅子に座った。自分の窓際の席の向こうに。しばらく以上の長い時間が過ぎ、彼女は席を立ち、後ろ手に、親指を、それも両手で、下向きに付き下げて、少し低く屈んだ。そして、もう一度、確信を持って、大きくはっきりした身振りで、その身振りを繰り返した。明るい表通りでの、そんな出来事を、時々思い出してみる。

[訳詩] 陽の当たる通りに出よう

On the Sunny Side of the Street

コートと帽子を取り
悩みは家に置き
足を向けよう
陽のあたる通りに

Grab your coat and get your hat
Leave your worry on the doorstep
Just direct your feet
To the sunny side of the street

ドキドキしないか
君の足音のメロディー
生きるのは楽しい
陽のあたる道で

Can't you hear a pitter-pat
And that happy tune is your step
Life can be so sweet
On the sunny side of the street

いつも歩くのは日影
憂鬱が次々
でももう気にしない
行く道を変えたのさ

I used to walk in the shade
With those blues on paradebn
But now I'm not afraid
This rover crossed over

どんなに貧しくても
ロックフェラーさ、金持ちさ

If I'd never have a cent
I'd be rich as Rockefeller

足を向けよう
陽の当たる通りに

Going to set my feet
On the sunny side of the street

Composer :	Jimmy Mchugh
Lyrics :	Dorothy Fields
Artist :	Billie Holiday

33 (057) Get Out and Get Under the Moon 月の光の照らす夜

[JASRAC:0G0-0740-0]

太陽は見ることを得ず 月は優しく青白き光で我を包めり

[解説] 太陽は直接見ることはできない。月だったら直接見れるし、その青白い光も、優しく、自分の周りを包んでいる感じがする。

住んでいる町の駅から家に向かう帰り途に、まっすぐに続く長い坂がある。このあたりの住宅地のメイン通りで、幅の広い道に、今、通る車はほとんどない。夜 11 時ごろ、南東寄りから上る月が坂の上に丸く輝き、風もちょうどよくそっと吹き過ぎるぐらいの中、上り坂を歩いた。東京で飲んだ帰り、一杯目のウイスキーの分は酔いは取れていると思うが、その後の 2, 3 杯の分は、帰りの 1 時間ちょっとぐらいの電車でも取り切れなかったらしい。日本語のジャズ、「アメイジンググレイス」や「スマイル」を歌ってみた。

確かに、月は大きく、明るく輝いても、冬の夜、外を出て歩く人もいない。風邪を引きそうに寒いというほどではなく、酔いに任せて、日本語をジャズの音符の上に置き、大きな声で言ってみた。

月の光明るき夜の帰り道 覚束なくも酔いにまかせむ

[解説] 月の光が明るい夜、家に帰る途中の道を、酔って、足元がふらふらするまま歩いた。

[訳詩] 月の光の照らす夜

Get Out and Get Under the Moon

夕暮れに何にも
することのないとき
本を読んだり、ゲームをする？
でも、何をしても同じ！

What do you do in the evening,
When you don't know what to do?
Read a book, play a game,
Every night it's just the same!

ブルーな気持ちで
いたくないなら
すぐできる、易しい
アドバイスがある

What do you say if I tell you
How to keep from feeling blue,
My advice is good to stay,
And it's easier to do.

たった一人、いつもの夜
たまらなく憂鬱、でも、
帽子を手に、ドアを閉めれば、
外は、月の光

When you're all alone, any old night,
And you're feeling mighty blue,
Pick up your hat, close up your flat,
Get out, get under the moon!

明るい、銀の月
すぐに素敵な気分
帽子を手に、ドアを閉めれば、
外には、月の光

ラ、ラ、見て空の星
甘い愛の夢
6月の夜なら

もしも一人、いつもの夜
調子が出ないとき
帽子を手に、ドアを閉めれば、
外には、月の光

デートのとき、いつもの夜
あの子と会うなら、そうだよ？
さあ、帽子を手に、ドアを閉めれば、
外には、月が出てる

明るい、銀の月
すぐに素敵な気分
帽子を手に、ドアを閉めれば、
外には、月が出てる
ラ、ラ、歩いて、キスして、
お話とキス、
恋人達の六月

雨の日の夜、部屋の中
でも、魅惑の6月
帽子を手に、ドアを閉めれば、
外には、月が出てる

[Scatting]

Underneath the bright, silvery light,
You'll be feeling better soon,
Pick up your hat, close up your flat,
Get out, get under the moon!

La-de-da-da-da-da, look! Look! Look
at those stars above!
Ah, look, look, look at those sweeties
love,
Oh, boy, give me a night in June!

I mean it, when you're all alone, any
old night,
And you're feeling out of tune,
Pick up your hat, close up your flat,
Get out, get under the moon!

When you make a date, any old night,
You gonna meet your sweetie soon?
Are you? Hm?
Well, then pick up your hat, close up
that flat!
Get out, get under the moon!

Underneath that bright, silvery light,
You'll be feeling better soon,
Pick up your hat, close up your flat,
Get out, get under the moon!

Da-da-da-da-da-da, walk, walk, kiss
and then walk again,
And talk, talk, kiss and then talk
again,
Oh, boy, sweethearts are all in June!

I mean it, when it's raining out, stay
in your flat,
But on a lovely night in June,
Pick up your hat, close up your flat,
Get out, get under the moon!

Composer :	Larry Shay
Lyrics :	Charles Tobias, Jerome William
Artist :	Helen Kane

我知らず春の野辺をぞ辿り行くに 思わぬ恋の闇に迷いぬ

[解説] 春の明るい野原をどこにということでもなく歩いていて、いつのまにか日は暮れて暗くなり道に迷って帰れなくなってしまったみたいに、思ってもみなかった人を好きになって、その好きになった気持ちをどうしようもなくなっている。

土曜日の午後、会社も休みの晴れた日に、散歩がてら、近くの海岸まで歩いた。いつものケンタッキーの2階の窓際の席で、コーヒーとポテトフライで少しの時間を海を見て過ごした。男と女が交際って、振ったり、振られたりしながら過ごす時期も大体はそんなに長いことではない。「ずるい」と思っても、相手にはわが身一つを扱い兼ねる事情もあったのだ。野生動物のラスカル、あらいぐま、には、ずるいと言われても、どうでもよいことに違いない。

[訳詩] よかったね

ほんとのことを知らなかった、そう、
 そうなの！
 今はどんな気持ちかわかったでしょ、
 そう、そうなの！
 すべて捧げた、私みたいに
 でも、振り向きもされない、さあ、
 どうするの？

そう、眠れず起きてブルース歌って、
 そう、そうよね、
 愛こそ大きなダイナマイト
 よかったあ、やったあ、
 あなたにも来たのよ、これで！
 それでいいのよ、そうなの！
 よかったね、ずるい人、あなたよ！

**(good thing, got yourself a good thing
 It's a good thing, got yourself a good
 thing I won't let you go.)**

Goody Goody

So you met someone who set you back
 on your heels, Goody goody!
 So you met someone and now you
 know how it feels, Goody goody!
 So you gave him your heart too,
 just as i gave mine to you.
 And he broke it in little pieces, now
 how do you do?

So you lie awake just singin' the blues
 all night, Goody goody!
 So you think that love's a barrel of dy-
 namite.
 Hooray and Hallelujah!
 You had it coming to ya.
 Goody goody for him, goody goody for
 me,
 And i hope you're satisfied, you rascal
 you.

ほんとのことを知らなかった、そう、
そうなの！
今はどんな気持ちかわかったでしょ、
そう、そうなの！
すべて捧げた、私みたいに
でもそれは コレクション、
ナンバー 92 なの

そう、眠れず起きてブルース歌って
愛こそ大きなダイナマイト
よかったあ、やったあ、
あなたにも来たのよ、これで！
それでいいのよ、そうなの！
よかったね、ずるい人、あなたよ！

So you met someone who set you back
on your heels, Goody goody!
So you met someone and now you
know how it feels, Goody goody!
So you gave him your heart too just
as i gave mine to you.
And he stuck it in his collection,
section ninety-two.

So you lie awake just singin' the blues
all night,
So you think that love's a barrel
of dynamite.
Hooray and Hallelujah!
You had it coming to ya.
Goody goody for him, goody goody for
me!
And i hope you're satisfied, you rascal
you

Compose & Lyrics :	Matt Malneck, Johnny Mercer
Artist :	Chicago
:	Julie London

嘘は罪なり 我のこといかばかり愛するならむ試みに問う

[解説] 嘘をつくのは罪。そうあなたに言うのは、あなたが、私のことをどのくらい愛しているのか試したいから、そう脅かして言うてみるの。

プログラムづくりで徹夜した帰りの朝、電車で湘南の海岸を過ぎ、家に着いて、朝食をする。取りあえず、そのまま眠るのは近くの野原を散歩してからと思い、少し疲れた脚でスニーカーを履き、出かけた。いつものように小川沿いの道から、山沿いの道でもない道を歩いていると、埋め込まれたコンクリート標石の出っ張りに躓いた。「嘘は罪」、そう言うとき、罪という言葉は、そう受け取られることはなくて、ただ、「だめっ」と半分笑いながら言われるだけのことも知れない。その言葉の中には、アダムとイブの昔、イブに課された制裁への、ほんのちょっとした反抗の記憶が蘇る。

[訳詩] 嘘は罪

Verse

嘘をつくのは悪いこと
「愛してる」って言うけど
本当かどうか知りたいの
本当のこと、よく考えてね

Chorus

「愛してる」のは本当なの？
嘘をつくのは罪
数え切れない心が傷つく
その言葉のために

あなたのことは好きよ、愛してる
裏切られたら、死ぬわ
「愛してる」って本当よね
嘘をつくのは罪！

It's a Sin to Tell a Lie

Verse:

You know it's a sin to tell a lie,
Still you keep saying, "I love you!"
It may be true, I wish I knew,
But I'm giving fair warning to you.

Chorus:

Be sure it's true when you say, "I love you",
It's a sin to tell a lie.
Millions of hearts have been broken,
Just because these words were spoken.

I love you, yes, I do, I love you,
If you break my heart i'll die.
So be sure it's true when you say "I love you",
It's a sin to tell a lie!

Composer :	Billy Mayhew
Lyrics :	Billy Mayhew
Arranged :	Jim Bottorff
Artist :	Billie Holiday

36 (082) Sophisticated Lady キャリアウーマン [JASRAC:0S0-7480-0]

身を売って仕事せしにあらず 楽しきとき心の底に寂しさの鳴る

[解説] 自分の体を売る商売をして来たわけではないけれど、楽しく騒いでいるときも、心の中で何か寂しい気持ちがずっと残っていて、本当に楽しんでいるのではない自分がいつもいるの。

ピリー・ホリディが歌っていた酒場で出会った女たち。会社勤めの女たちがどのくらいいたかは知らない。田舎を離れて、都会に来て、何がしかを男たちと張り合う女たちの戦いがあり、一人で室で泣いていた自分がいると思ったとき、自分が「ばかな女」と思われていることを赦したい気持ちになるかも知れないと思う。今も、ダイヤ、お酒、レストラン、煙草はともかく、変わってはいないと思う。

[訳詩] キャリアウーマン

あなたの昔のロマンス、
あなたの胸に燃えた火
ある日ふらつき、揺れ始め、やがて消えて行った、
目の中で深く、醒めて、
愛に迷うことも終わり
時は流れ、あなたは変わった

今は、
タバコに、お酒、明日もなく、いい加減
ダイヤ光らせ、ダンスして、だれかと
レストランに行く、

それでいいの、ほんとにそうなの？
そうじゃない、頭のいいあなたが、
昔失くした愛を思い、
誰もいないときに、泣くのね、

Sophisticated Lady

They say into your early life romance
came
And in this heart of yours burned a
flame
A flame that flickered one day and
died away
Then, with disillusion deep in your
eyes
You learned that fools in love soon
grow wise
The years have changed you, somehow
I see you now
Smoking, drinking, never thinking of
tomorrow, nonchalant
Diamonds shining, dancing, dining
with some man in a restaurant
Is that all you really want?
No, sophisticated lady,
I know, you miss the love you lost
long ago
And when nobody is nigh you cry

Composer :	Duke Ellington
Lyrics :	Mitchell Parish, Irving Mills
Artist :	Billie Holiday : Sarah Vaughan

囚われし言葉から我を解き放し 剣にて断たむ優しく弛めむ

[解説] 言葉に囚われてここから離れられないでいたように思う。それを、剣で断ち切るように強く思い切って切り離すか、それとも、暖めて、自然に緩めるかして、そこから解き放たれようと思う。

新しく入社した会社の、毎朝の朝礼に出る。当番で、一人が、40～50人の前に出て、「おはようございます」から、司会を進める。まず、自身の3分間スピーチで、自分のことや会社のことを何か話し、それから、全員で会社の標語や5カ条のモットーを叫ぶ。そして、「いらっしゃいませ」などのお客様相手の言葉の練習だ、それで朝礼は終わり、それぞれの仕事に入り、気を遣い、仕事は進み、横道に入り、後退し、どこかに向かう。

そこにいて、マンモスのように凍土の中に眠り、眠りから覚めるときは、氷河期が終わり、大河に水の流れが戻り、昔の暖かい何かの思い出があれば歩いて行けると思った。

氷結の堅く凝りしマンモスの 魔法の解けて立ち去るを乞う

[解説] マンモスがシベリアの凍土の中に凍って、固まっていたのが、その氷が溶けると、魔法が解けたように、自由に動けるようになり、そうして、どこへでも歩いて、出て行けるようになったマンモスは、それでも礼儀正しく、出て行かせてくれとお願いするような優しい気持ちを持っていた。

[訳詩] そのてをはなして

Release Me

その手を離して
もう愛していないから
むだな時間は罪
行かせて、愛したいから

Please release me, let me go
I don't love you anymore
To live together is a sin
Release me and let me love again

見つけた、新しい愛、
彼の近くにいたい
キスも、あなたのは冷たい
だからどうか、行かせて

I have found a new love dear
And I'll always want him near
Her lips are warm while yours are cold
Release me my darling let me go

Oh、その手を離して
もう愛していないから
むだな時間は罪
行かせて、愛したいから

Oh, please release me, let me go
I don't love you anymore
To live together is a sin
Release me and let me love again

Compose & Lyrics :	Eddie Miller, Pilahi Paki, W. Stevenson
Artist :	Patti Page
	: Engelbert Humperdinck

繰り返し我を抱きし人の愛せる ギターの音絶えて忘れず

[解説]私を愛してくれたあの人は、ギターをよく弾いていた。その音色は今も忘れずに、ずっと覚えています。

ジョニー・ギターの「ジョニー」ってどんな人が疑問に思った。明らかに何も仕事はなく、1日、ギターを弾いているらしく思った。日本で言えば、「桃太郎」や「わらしべ長者」のように、古い生活の記憶の産物ではないかと思った。インターネットで米国サイトの「質問.com」のようなところに聞いてみた。しかし、米国の白人らしい「ジョニー」は、その昔話を持ってはいなかった。普通にそこにいる普通の人で、ギターを弾いたりする、どこにでもいる若者という以上のことはなかった。

古く捨てられたギターの亡霊、今昔物語に出てくる、古く捨てられた器物の化身したもの、つくもがみ、というところかも知れない。とすると、この歌も鎮魂の歌にもなるのだろうと思う。

[訳詩] ジョニー・ギター

弾いてギターを、何度でも
冷たい人、でも、やさしい
私、ばかね、いつもジョニー
ジョニー・ギターと呼ばれるあの男に

ジョニー・ギター、弾いて、何度も
どこでも、どこにいても、好き、
ひどくて、でも、やさしい人
誰とも違うジョニー
ジョニー・ギターと呼ばれるあの人

Johnny Guitar

Play the guitar, play it again, my
Johnny
Maybe you're cold but you're so warm
inside
I was always a fool for my Johnny
For the one they call Johnny Guitar

Play it again, Johnny Guitar
Whether you go, whether you stay, I
love you
But if you're cruel, you can be kind, I
know
There was never a man like my Johnny
Like the one they call Johnny Guitar

Composer :	Victor Popular Young
Lyrics :	Peggy Lee
Artist :	Peggy Lee

39 (038) What a Difference a Day Made 1日ですべては変わる
[JASRAC: 0W0-2060-7]

一日で我は変われり 思わずも君の声今近く聞きしに

[解説] あなたが私を好きになり、今日はもうあなたと一緒にこうしているなんて、思ってもいなかったことです。それが、昨日のことで、この一日で私の人生と生きて行く環境はすっかり変わりました。

ビルの中を夜、機械設備のある室の施錠を確認しながら歩いて行く。地下3階の駐車場を見回りながら、地下2階、地下1階へと上がる。ちょうどよい運動になるので、最近では体重は少し減り、それは却って健康にいいことなのだ。不審者や異変が発生したときの対応は実際にはまだない。1年の間には、そんなことも1回か2回か、頻繁にはなくても発生するのだろう。あるいは、2~3年の間にはあるかもしれない。新聞にも出ないような事件が日々起きているのかどうか、一回りした後、短い仮眠時間が取れる。もう、今日の日付になっていて、眠る間もなく、起きてしなくてはいけないことがある。

24時間で変わる世界。宝くじでも当たれば、どんなに変わることだろう。そのとき変わるの、世界ではなく、一人の人の中の何かなのだろう。

[訳詩] 1日ですべては変わる

What a Difference a Day Made

今日はもう違いわ、
24時間で
陽がさして花が咲く、
雨だったのに

What a difference a day made
Twenty four little hours
Brought the sun and the flowers
Where there used to be rain

昨日はブルーよ、
今日は、あなたという
寂しい夜は終わり
私だけのあなた

My yesterday was blue, dear
Today I'm a part of you, dear
My lonely nights are through, dear
Since you said you were mine

1日で変る、
目の前には虹
嵐は終わり
幸せな、どきどきのキス、

What a difference a day makes
There's a rainbow before me
Skies above can't be stormy
Since that moment of bliss, that
thrilling kiss

あなたのメニューに
ロマンスもある
今日はもう変わったの、
それはあなた

It's heaven when you find romance on
your menu
What a difference a day made
And the difference is you

Composer :	Maria Mendez Grever
Lyrics :	Maria Mendez Grever
Translation :	Stanley Adams
Artist :	Dina Washington

40 (037) Try to Remember 9月の思い出

[JASRAC: 0T0-1846-6]

秋過ぎて夕暮れの光沈み行く 埋み火の熱を掘り起こしいて

[解説] 秋も終わり、冬も近く、囲炉裏のそばで、その灰の中に埋めた炭火を掘り起こしながら、陽の光の消えて行く中で、いろいろなことを思いながら、あるいは、何も思うことなく、夕暮れの時間が過ぎて行きます。

家の近くの里山の荒地を散歩していたら、コゲラが数羽木に止まっていた。そういえば、今年、家の柿の木に1羽のコゲラが来て、木を叩く音を聞き、見て、デジカメで写真を撮った。もう何年も前にここに移り住んで、今までにコゲラを見たことはなく、ときどき、木を叩く音が里山の散歩のときに聞こえてはいたが。

コゲラは漢字では啄木だという。思い出の中に青く揺れていた人、柳泣き、石川啄木がジャズの音色を聞いたことはなかったかも知れないが。

[訳詩] 9月の思い出

Try to Remember

思い出すの、あれは9月、
穏やかな、幸せな日よ
思い出すの、あれは9月、
青い草、金色の穂よ
思い出すの、あれは9月、
優しく、ゆれていた人

Try to remember the kind of September
When life was slow and oh so mellow
Try to remember the kind of September
When grass was green and grain was yellow

思い出すの、思い出して、
思い出よ、いつまでも …
思い出すの、穏やかな日
柳泣き、ゆれるだけ

Try to remember the kind of September
When you were a tender and callow fellow
Try to remember and if you remember
Then follow-follow, oh-oh
Try to remember when life was so tender
That no one wept except the willow

思い出すの、穏やかな日
いつも夢は、すぐそこに
思い出すの、穏やかな日、
静かな愛は、燃えていた .
思い出すの、思い出して、
思い出よ、いつまでも …

そう … 今は12月、思い出のとき
いつものように、雪は降る
今は12月、思い出のとき
空しく、悲しみはない

今は12月、思い出のとき
輝く9月を夢見る
今は12月、二人のため、
思い出よ、いつまでも

Try to remember when life was so tender
That dreams were kept beside your pillow

Try to remember when life was so tender
That love was an ember about to billow
Try to remember and if you remember
Then follow-follow, oh-oh

Deep in December, it's nice to remember
Although you know the snow will follow
Deep in December it's nice to remember
Without a hurt, the heart is hollow

Deep in December it's nice to remember
The fire of September that made us mellow
Deep in December our hearts should remember
Then follow

Composer :	Harvey Schmidt
Lyrics :	Tom Jones
Artist :	Perry Como

41 () As Time Goes By 時は流れても

[JASRAC:0A0-3710-2]

月の光と愛は色褪せることなくて 嫉妬と敵意も明る灯れり

[解説] 月の光、そして、愛、その色は褪せることはありません。それと、嫉妬や敵意のような感情も、考えてみると、いつも、消えることなく、心の中にあります。それは、明るく輝いていると言っていいかも知れません。

仕事を探しにハローワークに行く。紹介状をもらい、応募先のメールを聞いて、帰る。もしも、今までの仕事がすべてうまく行っていたら、定年となり、世の中と関わりなく、街を歩き、海辺を歩いていたのかも知れない。今、相変わらず、人との付き合いに、自分のアピールに、そしてその結果に一喜一憂し、月の光や、海辺の景色に、時を、一瞬にせよ、忘れ、好悪の感情の灯が明滅するにまかせる。宮沢賢治の「有機交流電球のひとつの青い照明」ということなのだろうか。

[訳詩] 時は流れても

As Time Goes By

You must remember this
A kiss is still a kiss, a sigh is just a
sigh.
The fundamental things apply
As time goes by.

And when two lovers woo
They still say, "I love you."
On that you can rely
No matter what the future brings
As time goes by.

Moonlight and love songs
Never out of date.
Hearts full of passion
Jealousy and hate.
Woman needs man
And man must have his mate
That no one can deny.

It's still the same old story
A fight for love and glory
A case of do or die.
The world will always welcome lovers
As time goes by.

[Moonlight and love songs
Never out of date.
Hearts full of passion
Jealousy and hate.
Woman needs man
And man must have his mate
That no one can deny.

It's still the same old story
A fight for love and glory
A case of do or die.
The world will always welcome lovers
As time goes by.]

Oh yes, the world will always welcome
lovers
As time goes by.

Composer :	Herman Hupfeld
Lyrics :	Herman Hupfeld
Artist :	Dooley Wilson

42 (005) Diamonds Are a Girl's Best Friend 女の子はダイヤモンドがすき

[JASRAC:0D0-1680-7]

ダイヤこそ女心を知りつらむ 瞳の奥の冷たき光

[解説] ダイヤモンドは女の気持ちを知っているのだと思います。女の瞳の奥に、ダイヤモンドが輝いて見えることがありますから。そのとき、それは、いつも冷たく光っています。

銀座の中央通りを新橋側から、まっすぐ京橋に向かい歩く。銀座にこの数年で多くの欧米のブランド店が進出して、表通りを洋風の豪華で飾り立てることになった。ティファニー、ハリーウィンストンはある、ヴィトン、エルメス、ディオール、シャネル、などなど。日本の宝石店には泥棒が入る。ショーウィンドウや店内のケースに置かれたダイヤモンドのカットはスクウェアだったり、ペアシェイプやバゲットだ。あるいは、今は、新しい名前のカットがあるかもしれないが。

当時でき始めの洗濯機や掃除機が壊れて動かなくなったらどうしようもない。そして、今までふんぞり返っていた男が、急にそわそわして、しおらしく家に帰るとき、株のチャートも急に下がっているはず。2010年の今にぴったりの1930年。80年周期の波だろうか。そして、ダイヤモンドは変わらない。

[訳詩] 女の子はダイヤモンドがすき

手にキスなんてとてもおしゃれ
でも、女はダイヤモンドが好き
最高のキス、でも家賃は溜まるし
洗濯機は直らない

女は年をとり男は冷たい
どっちも魅力をなくして行く
でも、スクエアカットやペアシェイプは
変わらない
ダイヤモンドは女の味方

Diamonds Are a Girl's Best Friend

A kiss on the hand may be quite continental,
But diamonds are a girl's best friend.
A kiss may be grand, but it won't pay the rental
On your humble flat or help you at the automat

Men grow cold as girls grow old,
And we all lose our charms in the end.
But square cut or pear shape these rocks don't lose their shape!
Diamonds are a girl's best friend.

ほんとの心の愛もある
でもダイヤは女の味方
自由で秘密の愛が勝ちよ
少し甘えて、大きなバグエットがあればね

時はすぐたち、若さは消えゆく
体を曲げたらもどらない

でも、背中や膝が硬くなっても
行くのよ、ティファニー
ダイヤは女の味方

いつか、女の子に弁護士が要るとき
ダイヤは女の味方
社長がいきなりあなたを見染めても
ダイヤがないなら、断るのよ

株が高いとき、彼はあなたのもの
でも、下がりだしたら気をつけて
それは、ろくでなしが家に帰っていく時
ダイヤモンドだけが味方

I've heard of affairs that are strictly
platonic,
But diamonds are a girl's best friend.
And I think affairs that you must keep
Masonic
Are better bets
If little pets get big baggettes.

Time rolls on, and youth is gone,
And you can't straighten up when you
bend.
But stiff back or stiff knees,
You stand straight at Tiffany's!
Diamonds are a girl's best friend.

There may come a time when a lass
needs a lawyer,
But diamonds are a girl's best friend.
There may come a time when a hard-
boiled employer
Thinks you're awful nice,
But get that ice or else no dice.

He's your guy when stocks are high,
But beware when they start to de-
scend.
It's then that those louses go back to
their spouses!
Diamonds are a girl's best friend.

Composer :	Jule Styne, Leo Robin
Lyrics :	Jule Styne, Leo Robin
Artist :	Emmylou Harris

43 (008) East of the Sun, West of the Moon 日は東、月は西

[JASRAC:0J1-9138-1]

どこか遠くに二人だけのお城がある 朝の光に月傾けり

[解説] 朝、陽の光が射し、月は地平線に落ちて行くのを見るとき思うのは、その、太陽や月のあるどこか遠くの方に、私たち二人のためのお城もきっと輝いて建っているということです。

今日、家の娘は泊りになるという。建物の窓の外を見ながら、何か、卒業論文とやらを書いているらしいその合間に、何の変哲もない通常のありきたりの夢を無意識に紡いでいるのかも知れないと思う。夜が来て、朝になり、月が傾き、日が昇る頃、自分勝手な、睡眠と目覚めの時間、誰も通る人のない建物の外の景色、敷地の植え込みと草花、歩道の空間を眺めながら、永遠プラス1日の幸せな日々を思うのだろう、その1日が今日であることを願って。

[訳詩] 日は東、月は西

East of the Sun, West of the Moon

昇る日、沈む月
愛の夢のお家を建てる
昼には太陽が、夜は月が近い
幸せに暮らすの
忘れないで、愛したこと
1日、2人、そして永遠
愛はいつまでも、続くもの
空の星は、愛の歌に
合わせて瞬く
昇る日、沈む月、そうさ、
昇る日、沈む月

East of the Sun and west of the Moon,
We'll build a dream house so lovely
Near to the sun in a day, near to the
moon at night,
We'll live in a lovely way dear
Living our love in memory
Just you and i, forever and a day,
Love will not die, we'll keep it that
way,
Up among the stars we'll find
A harmony of life, too lovely tune
East of the sun and west of the moon,
dear,
East of the sun and west of the moon.

Composer :	Brooks Bowman
Lyrics :	Brooks Bowman
Artist :	Frank Sinatra

44 () Fallen(Autumn) Leaves 枯葉

[JASRAC:0A0-2251-2]

寒き夜に枯葉降り積む音すなり かすかに思い出の我に降り積む

[解説] 寒い夜、外で枯葉が地面に落ちて積もる音が聞こえるような気がします。その音は、何かの思い出が自分の中に積もって行く音でもあると思います。

仕事先に新しく赴任した責任者は31才になったばかりという。社会のいろいろな場所から集まり、外国人も交えた部署でプロジェクトを推し進める。今度、新しい装置を映画館の受付自動機械として売り込もうというのだ。もう一頻り人生の仕事をし終えた初老の男に向かい、何事が不満を述べているのが聞こえる。言葉は、若い男の周りに舞い散る枯葉のように飛びすさび、吹き飛んで行く。うすっぺらな枯葉は室の中に静かに降り積もり、その中に思い出のようなものが熱を帯び、赤く光り、やがて消える。

シャンソンの「枯葉」を聞く。レンガの建物の外を、枯葉飛び散る中を歩いて行く人がいる。日本の枯葉の冬、秋ではなく、三次達治の「... 太郎の屋根に雪ふりつむ...」中で、眠る人がいる。

[訳詩] 枯葉

Fallen(Autumn) Leaves

The falling leaves drift by the window
The autumn leaves of red and gold
I see your lips, the summer kisses
The sun-burned hands I used to hold

Since you went away the days grow
long
And soon I'll hear old winter's song
But I miss you most of all my darling
When autumn leaves start to fall

Composer :	Joseph Kosma
Lyrics :	Jacques Prevert
English Lyrics :	Johnny Mercer
Artist :	Nat King Cole

45 (010) A Foggy Day 霧の日に

[JASRAC:0F0-2350-9]

霧の日に大英博物館も陰れるを 君歩み来る舗道光れり

[解説] ロンドンの大英博物館を見に行った日は霧が出て、曇った空で心も晴れない
ていたのですが、ふと見ると、愛するあなたが歩いて来るなんて、一体どう
したの。舗道も急に光りが射して来たように明るくなったし。私の心もすっ
かり明るくなったの、今は。

遠くに暮らしている子供にメールを送る。返事はないかも知れない。ただ、時折の不
意の電話や、パソコンでのスカイプの声で無事に彼地での日常が過ぎているのが分
かる。

大英博物館の通りの角に立っているのは、きっとアメリカ人で、米国東部からロンド
ンまでの時間的距離は、新幹線で東京から少し遠くまで行くくらいだ。

[訳詩] 霧の日に

霧の日のロンドンの街、
沈む気持ち、悲しい
朝 目が覚め、驚いたの、
大英博物館の輝きもうない

寂しくて怖い
でもなくなる奇跡、
あなたがそこに立って
だからロンドンの霧の日も、太陽が
まぶしい

A Foggy Day

A foggy day, in london town,
It had me low, and it had me down
I viewed the morning, with much
alarm,
The british Museum, had lost its
charm

How long I wondered,
Could this thing last,
But the age of miracles, it hadn't past
And suddenly, i saw you standing right
there
And through foggy london town, the
sun was shining everywhere

Composer :	George Gershwin
Lyrics :	Ira Gershwin
Artist :	Billie Holiday

46 (022) It All Depends on You あなた次第なの

[JASRAC:010-7461-9]

我が心近づくも離れるもあなた次第にて 哀しきときもそれもよしとせむ

[解説] 私の気持があなたから離れたり、近づいたりするのは、一つはあなた自身の私への態度や行動に関係することなのに、そういうあなたを好きになったのは私なのだから、もし私が悲しい気持ちになったとしても、私はそのままでもいいし、あなたはあなたのままできて欲しいと思うの。

男が、「だめだよ、これじゃ使えない。」と、青白い顔で言う。予定外のことなのか、IC ボードにコンデンサーなどの部品を載せて、半田付けした簡単な回路が動いた。本人は真顔で、いくつかの理由と判断を述べ、こちらも、真面目で、深刻な表情を作った。

自分の仕事の成果は、それを尋ねる人とも無関係ではない。

自分の幸せが、あなたのすることと関係なく、独立に決まるわけではなく、あなたの考えやすることが、あなたの世界を変えていることに気づくのはまだ先のことらしい。

[訳詩] あなた次第なの

幸せなの、不幸なの
私はいい子、そして悪い子
それは、あなた次第
人ごみに私はひとり
みじめでも、えらいの
それはあなた次第なの

お金を貯め、そして使う
明るく生きる、それともおしまい
あなたのせいよ、私のことみんな、
乞食にもなる、王様にもなる
昔のどんな人にも
それはあなた次第なの

It All Depends on You

I can be happy, i can be sad
I can be good, i can be bad
It all depends on you
I can be lonely out in a crowd
I can be humble, i can be proud
It all depends on you

I can save money, or spend it
Go right on living, or end it
You 're to blame, baby, for what i do
I know that i can be beggar, i can be king
I can be almost any old thing
It all depends on you

Composer :	Buddy G. DeSylva, Edward D. Ballantine
Lyrics :	Lew Brown, Ray Henderson
Artist :	Billie Holiday

真実の愛以外はあるという 愛を並べて売りし店あり

[解説] あらゆる愛の形を並べて売っている店があったけど、そこには、真実の愛だけは置いてないということだった。

仕事の面接で会社を訪れる。早めに着いて、時間潰しにタリーズでお茶を飲む。午前 10:30。隣の席で3人の主婦がおしゃべりをする。今の時間、子供を幼稚園か保育園かに送り届けた後なのだろう。子供の話、旦那の話。1人は妊娠中らしく、他の2人は、「もう作らない」とか、「まだ大丈夫」とか、それと旦那がどのくらい家事をするとか、などなど、TV で見たような、聞いたような声でもある。それぞれの愛は、適正価格で売れたらしい。

愛の売り物は、誘いはするものの、あくまでも買うのはあなたの意思で買うのだ。いろいろな売り物があり、詩人の歌う愛はやがてあきてしまう単純なものに見えるという。こんな歌が石川啄木の歌集の中にもあったかも知れない。

[訳詩] 愛、売ります

Love for Sale

ラブ フォー セール
 売るわよ、おいしい愛、
 ピカピカの愛、少し古い愛、
 ラブ フォー セール
 買う人？
 お試して、どう？
 天国行きの切符、
 欲しい人はだれ！
 ラブフォーセール
 詩人の愛は、幼いもの、
 私はもっと色々愛を知ってる、

Love for sale,
 Appetizing young love for sale.
 Love that's fresh and still unspoiled,
 Love that's only slightly soiled,
 Love for sale.
 Who will buy?
 Who would like to sample my supply?
 Who's prepared to pay the price,
 For a trip to paradise?
 Love for sale
 Let the poets pipe of love in their child-
 ish ways,
 I know every type of love
 Better far than they.

愛のスリルが欲しいなら、私に任せて、
新しいの、古いの、
本物以外、
ラブ フォー セール、

売るわよ、おいしい愛、
売り物は2階に、さあ、付いて来て、
ラブ フォー セール、

If you want the thrill of love,
I've been through the mill of love;
Old love, new love
Every love but true love
Love for sale.

Appetizing young love for sale.
If you want to buy my wares.
Follow me and climb the stairs
Love for sale.

Compose & Lyrics : Cole Porter Artist : Billie Holiday

覚えたる君の足音に懐かしく迎えむ里の花散りにけり

[解説] あなたの故郷にいて、聞き覚えのある足音を懐かしく聞きました。花の季節も少し移り、今、散りかかっています。

去り行きし君を迎えむ我が里の春としなくも飾り尽くしつ

[解説] 離れていた故郷に帰ってきたあなたのために、今、春ではないのですが、景色は、いっぱい飾りつけて飾られています。

今日、新橋の駅から銀座の方に歩いて行くとき、珍しくチンドン屋で景気をつける本日開店初日の寿司屋があり、新しい衣装の四人が楽器を吹き鳴らし、叩き、ビラを配っていた。ちょうど11時、今始めたところだったのか、ビラを見て、春らしいネタのメニューに、入り口の前に足を向けると、「今、開店です」の声、入ると、二階に案内され、二階では、全員総出の「いらっしゃいませ」に驚いた。開店第1号の客だったのか。定番の季節の6貫にぎりに、単品の本まぐろを景気づけに頼み、そして、炙りまぐろがサービスに出てきた。

雑事を済ませたその日、応募した仕事に、2件面接のオファーがあり、家に帰ると、思いがけない知らせ、役所からの年金支払通知書がポストにあった。

その日、母の命日であると妻が言った。

[訳詩] ダニーボーイ

Oh, ダニー、マイボーイ、
ザパイプスの声が
谷間に響き渡り
夏過ぎて、バラも散り行く
あなたは行く、私は待つ
帰ってよ、
夏の草の中
それとも、白い雪の谷間に

Danny Boy

Oh, danny boy, the pipes, the pipes
are calling
From glen to glen and down the moun-
tainside
The summer's gone and all the roses
falling,
'tis you, 'tis you must go and i must
bide.
But come ye back when summer's in
the meadow,
Or when the valley's hushed and white
with snow,

日差しの中、それとも陰で
私は待つ、
Oh、ダニー、可愛い、マイボーイ

あなたは帰り、花も終わり
もし我が死すでにあれば ...、
いつかはね
私の眠る場所で
膝を折り、さよならを言う、
あなたの足音を聞いて、
私はなごみ、やすらか、
愛していたと告げる声に、
眠り穏やかに、あなたを待つ

'tis i'll be there in sunshine or in
shadow,
Oh, danny boy, oh danny boy, i love
you so.

And when you come and all the
flowers are dying,
If i am dead - as dead as i well may
be -
Ye'll come and find the place where i
am lying
And kneel and say ave there for me;
And i shall hear, though soft you
tread above me,
And all my grave shall warmer,
sweeter be,
And ye shall bend and tell me that
you love me,
And i shall sleep in peace until you
come to me.

Composer :	traditional(Ireland)
Lyrics :	Frederic E. Weatherly
Artist :	John Mcdermott

拾遺

ほかに、いくつか物語のない歌があります。いつか、その物語が見つかることを思い、残簡として記し置きます。

Blue Christmas ブルークリスマス

雪のないクリスマスの日 青色の発光ダイオードをツリーに飾れり

[解説] クリスマスの日に雪はなくて、少し物足りなかったのですが、新しい発明の青色発光ダイオードの光をクリスマスツリーに飾ったら、少し、嬉しい気持ちになりました。

(091) When You're Smiling 君微笑むとき

微笑みと笑いと区別付け難み 笑うとき遠く雷響けり

[解説] 微笑と笑いの違いはあると思う。笑うと大きな音が跳ね返ってくるような気がする、微笑に音はないけれど。

微笑みて泣くとき世界は驚かむ 己が心を測りかねつつ

[解説] 微笑しながら、泣いたら、自分の気持ちは何なのか、自分でも分からないと思う。

(133) The Best Thing in Life Are Free それは最高の人生

月も花も鳥も日は暖かくて 星も愛もすぐそこにある

[解説] 月もある、花もある、鳥も鳴き、日は暖かく、星も近くに見え、愛もすぐそこにある。そんな人生は最高だ。

月も花も 鳥は飛び日は暖かく 星と愛とを誰か匿せる

[解説] 月もある、花もある、鳥は飛び、日は暖かい。そんな楽しい世界にいて、星や愛を、隠してしまうような意地悪な人はいないと思う。

最高のものはすぐそこにある いつとは言わず愛も訪ひ来む

[解説] 人生の最高のものは、すぐそこに、身近なところにあるのだから、いつとは、はっきりは言えないけど、愛だってきっとあなたのところにいつか来ることになってます。

(043) Amazing Grace アメイジング・グレイス

嘆きつつ歌うとき思い出の色鮮やかに 寝入りし後の夢ぞ楽しき

[解説] 悲しくて、泣きながら歌うとき、楽しいときの思い出は鮮やかに蘇り、そのまま眠ったら、きっと夢は楽しい夢を見られそうだ。

The Song Is Ended 歌声は消えて

誰も同じ曲を聞けども それを歌う声はそれぞれの声で歌ひぬ

[解説] 曲のメロディは同じものは同じものと誰でも分かる。でも、それを歌っている人の声は一人ひとり違い、それぞれの人に対して、その人にだけの特別の思い出があるのを思い出させる。

Moon River ムーンリバー

月と川と夜静まりて大空に 虹の懸かれる明日を思ひぬ

[解説] 静かな夜に、川とその上の月、暗い広い空を見ながら、明日の虹の懸かった晴れた日の空を考えてみた。

二人して虹の上にて出会ひなむ 広き河に月白く上れり

[解説] 虹の、ちょうど一番上のところで二人で出会えたらいいね。今は、目の前には、夜の広い河があり、そこに月が白く上って来ているのを見ている。

(061) It's Only a Paper Moon ペーパームーン

紙の月と誰か知りけむ 君の愛を己が心に確かむるまで

[解説] あの月が紙で出来ているかどうかどうやって分かるというのだろうか。あなたに対する私の愛は、自分の心にいつも聞いて、本物だということは分かっている。

紙の月と誰か知りけむ あなたの私がいれば紙とや思はむ

[解説] あの月が紙で出来ているかどうかどうやって分かるというのだろうか。私を信じてくれているあなたがいる限り、あの月のことも、紙だとは思わない。

紙の月と誰か知りけむ 我を思ふ月なればなを紙とや思はむ

[解説] あの月が紙で出来ているかどうかどうやって分かるというのだろうか。私を愛してくれている月ならば、なおのこと、紙だとは思いません。

うたかたの世にしありせば 面白き騒ぎも果てむ紙の月の下

[解説] はかない人生なのだから、面白く騒いでも、それも終わりのときがあり、そのときには、輝いていた月も、結局、紙で出来ていたことに気がつくことになる。

That Old Feeling オールドフィーリング

袖近く人は通りぬ 燃えさしの燃えし心は忘れずぞあらむ

[解説] 昔の恋人とすれ違ったとき、何か気持が高ぶってしまって、あの人のことを忘れないでいる自分に気がついた。

(055) Dream a Little Dream of Me 私のこと夢に見て

我が心眠れずにいて 眠りけむきみが心に我が夢を見せむ

[解説] 眠れずにいる夜、もう眠っているあなたの夢のなかに私が入って行きたいと思う。

我が心眠れずにいて 眠りけむきみが心に安居し居らむ

[解説] 眠れずにいる夜、眠っているあなたの心の中に、そっと入ってほしい。

後記

スタンダードジャズの曲の歌を、日本の古典文学の形を真似て、その歌に取り込みました。そのときそのときに頭に浮かんだジャズ歌であり、多感な時代を懐かしむ、思い出し方でもあります。そして、意外なことに、伊勢物語のことばの意味や、書かれた理由、その気持ちも共感できるものでした。

千年前に書かれたことばを、後に文学に拾い上げた能楽の謡本がありますが、遠く離れたところで発生したことばを、今の時代に拾い上げるという点では、共通点もあるジャズ歌の和訳が、伊勢物語の構成に親近感を持ったことは偶然の思い付きではないようです。もしかしたら、ものがたりのまだない歌に、ものがたりが添えられ、また、新たな歌ものがたりが、他のだれかの手によって追加されることもあるものと思います。初稿４８段のこのものがたりが、いつか、１００数段まで進むことは、自分でも考えていることであり、そのことの楽しみが理解されるようになることを疑う理由はありません。

今回、第３７段は改訳版を載せた。また、いくつかの印刷上の誤り（第３３段など）を訂正した。

2015.10.20 Tue BTE

曲名索引

	段	JSB
A Foggy Day 「霧の日に」	45	010
Ain't Misbehavin' 「正しく生きて行く」	12	001
Alexander's Ragtime Band 「アレキサンダーズ・ラグタイム・バンド」	18	041
All the Way 「いつでも、いつまでも」	6	002
Amazing Grace 「アメイジング・グレイス」	拾遺	043
Am I Blue 「ブルーな気持ち」	21	003
As Time Goes By 「時は流れても」	41	
Besame Mucho 「ベサメムーチョ」	24	046
Blue Christmas 「ブルークリスマス」	拾遺	
Come on-a My House 「家においでよ」	9	006
Cow Cow Boogie 「カウボーイブギ」	29	052
Croce di Oro 「クローチェ・ディ・オーロ」	30	
Danny Boy 「ダニーボーイ」	48	053
Diamonds Are a Girl's Best Friend 「女の子はダイヤモンドがすき」	42	005
Dream a Little Dream of Me 「私のこと夢に見て」	拾遺	055
East of the Sun, West of the Moon 「日は東、月は西」	43	008
Fallen(Autumn) Leaves 「枯葉」	44	
Foolin' Myself 「自分でなくて」	26	011
Get Out and Get Under the Moon 「月光価千金」	33	057
Goody Goody 「よかったね」	34	013
I'm Confessin' 「愛してるの」	13	017
I'm Gonna Sit Right Down and Write Myself a Letter 「自分に書く手紙」	1	018
In the Shade of the Old Apple Tree 「林檎の樹の下で」	4	019
I Surrender, Dear 「もうあなたのもの」	16	020
It All Depends on You 「あなた次第なの」	46	022
It's a Sin to Tell a Lie 「嘘は罪」	35	021
It's Only a Paper Moon 「ペーパームーン」	拾遺	061
I Wanna Be Loved by You 「あなたに愛されたい」	2	063
Johnny Guitar 「ジョニー・ギター」	38	023
Love for Sale 「愛、売ります」	47	068
Love Me Tender 「ラブミーテンダー」	10	
Mack the Knife 「マック・ザ・ナイフ」	17	024
Moon River 「ムーンリバー」	拾遺	
My Funny Valentine 「マイファニーバレンタイン」	19	073
My Way 「マイウェイ」	28	120

	段	JSB
On a Hill by the Bay (港の見える丘)	8	
On a Slow Boat to China 「ボートでゆっくり、チャイナ」	23	075
On the Sunny Side of the Street 「陽の当たる通りに出よう」	32	029
Once in a While 「ときどき思い出してね」	22	028
Pennies from Heaven 「空から銅貨が降ってきた」	14	030
Release Me 「自由にさせて」	37	031
Save the Last Dance for Me 「ラストダンスは私に」	7	040
Smoke Rings 「スモークリング」	31	033
Sometime I'm Happy 「ときどき幸せ」	27	034
Sophisticated Lady 「キャリアウーマン」	36	082
South of the Border 「国境の南」	5	035
Stars Fell on Alabama 「星降るアラバマ」	3	083
Tennessee Waltz 「テネシーワルツ」	11	036
That Old Feeling 「オールドフィーリング」	拾遺	
The Best Thing in Life Are Free 「それは最高の人生」	拾遺	133
The Song Is Ended 「歌声は消えて」	拾遺	
Try to Remember 「9月の思い出」	40	037
We Three 「私たち、3人」	15	089
What a Difference a Day Made 「1日ですべては変わる」	39	038
When the Saints Go Marching In 「聖者の行進」	20	090
When You 're Smiling 「君微笑むとき」	拾遺	091
Where or When 「どこかで、いつか」	25	039

© BTE 2015

ジャズ伊勢物語 改訂増補版

著 者 美艇 香津
連絡先 fct_tar123@live.jp
発行日 2015 年 11 月 26 日
印刷所

[ジャズ伊勢物語 日本語で歌うジャズ詩 EtoJ (コミックマーケット 78)
2010 年 4 月 18 日 初版第一刷発行]

